

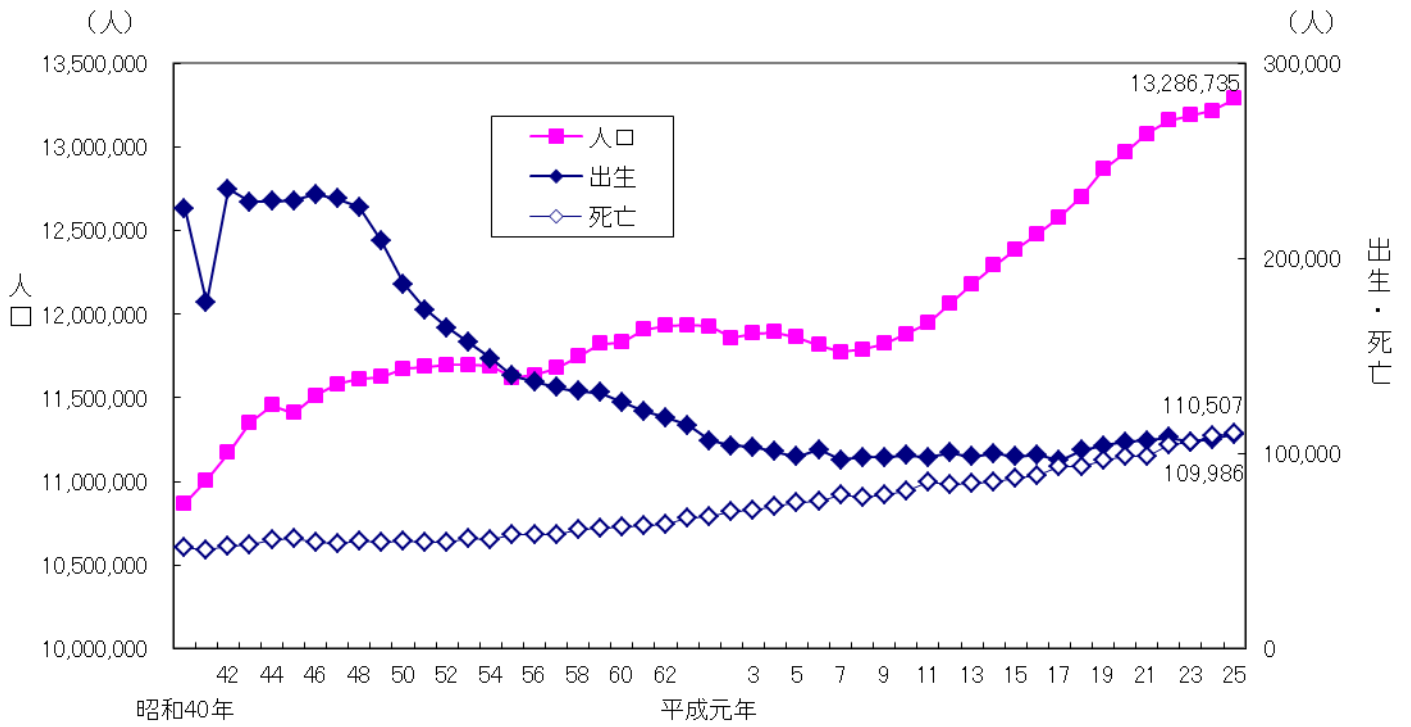
## V 資料編





(2) 東京都の人口、出生、死亡の推移

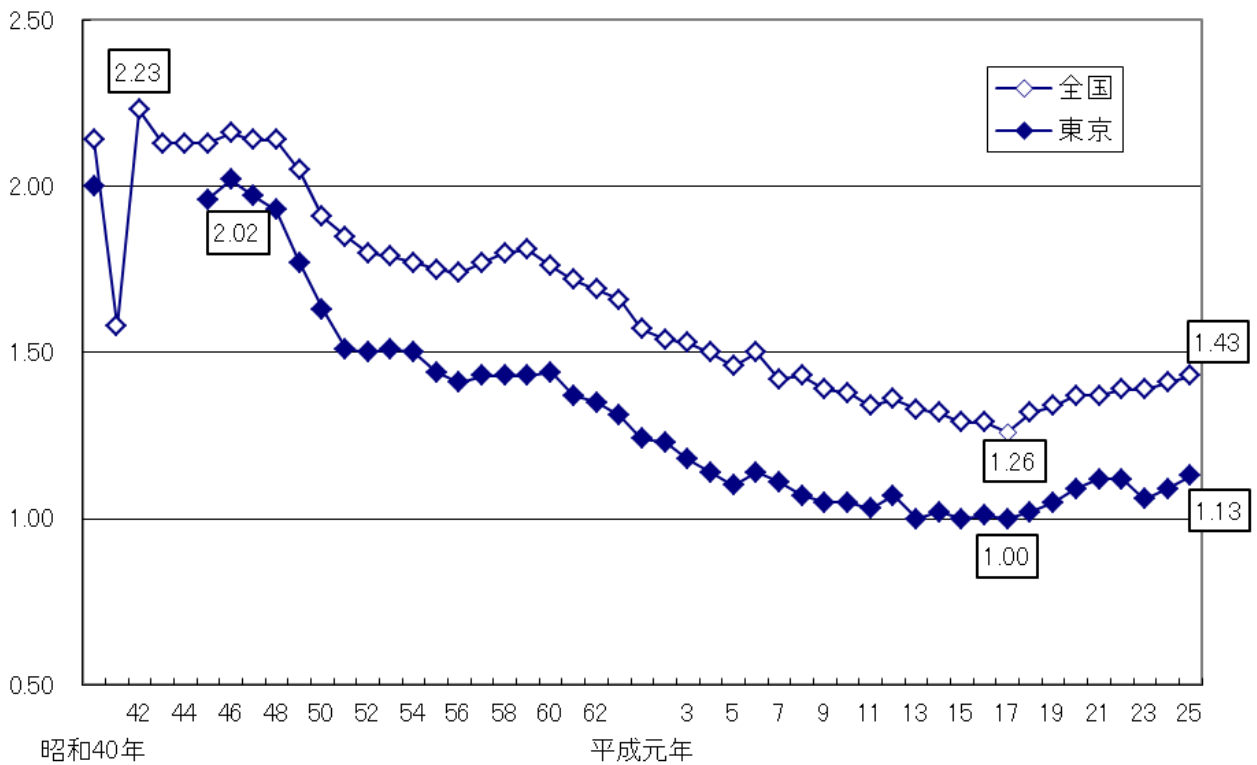
(昭和40年～平成25年)



出典：東京都衛生年報、人口動態統計、人口動態統計年報

(3) 全国と東京都の合計特殊出生率

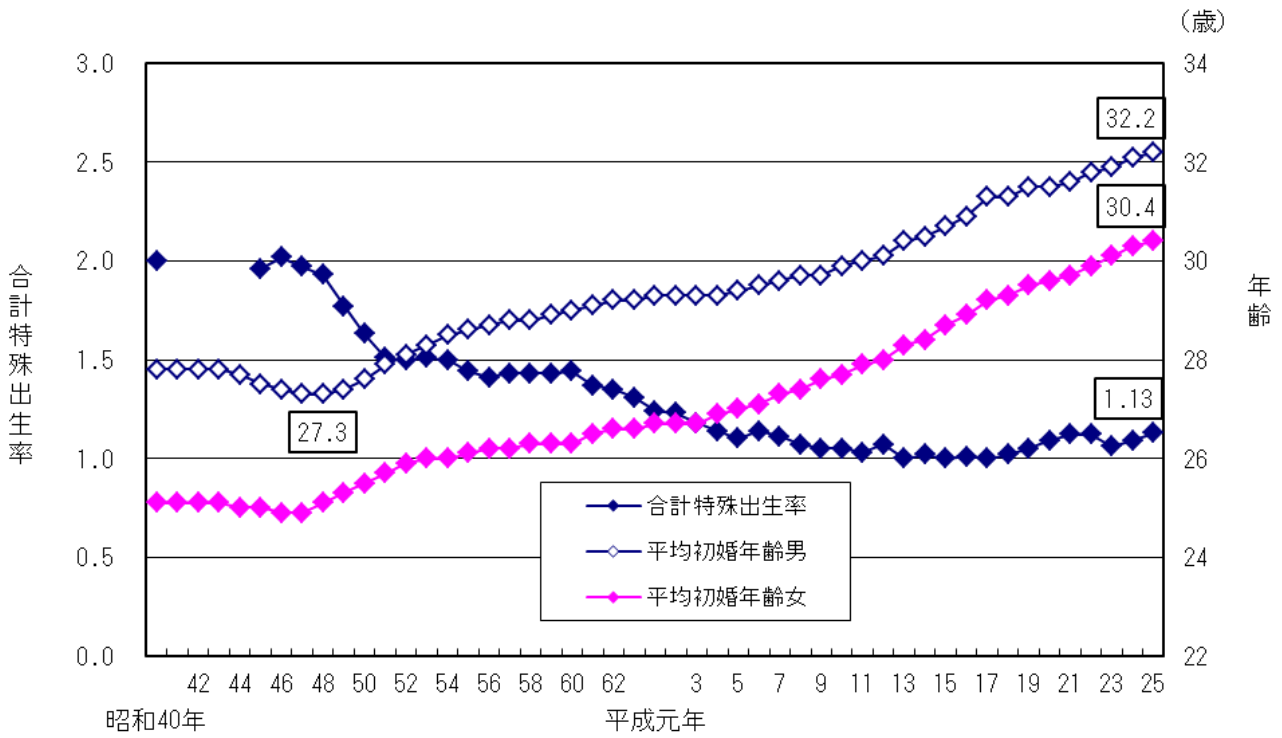
(昭和40年～平成25年)



出典：人口動態統計、人口動態統計年報

(4) 東京都の合計特殊出生率と平均初婚年齢

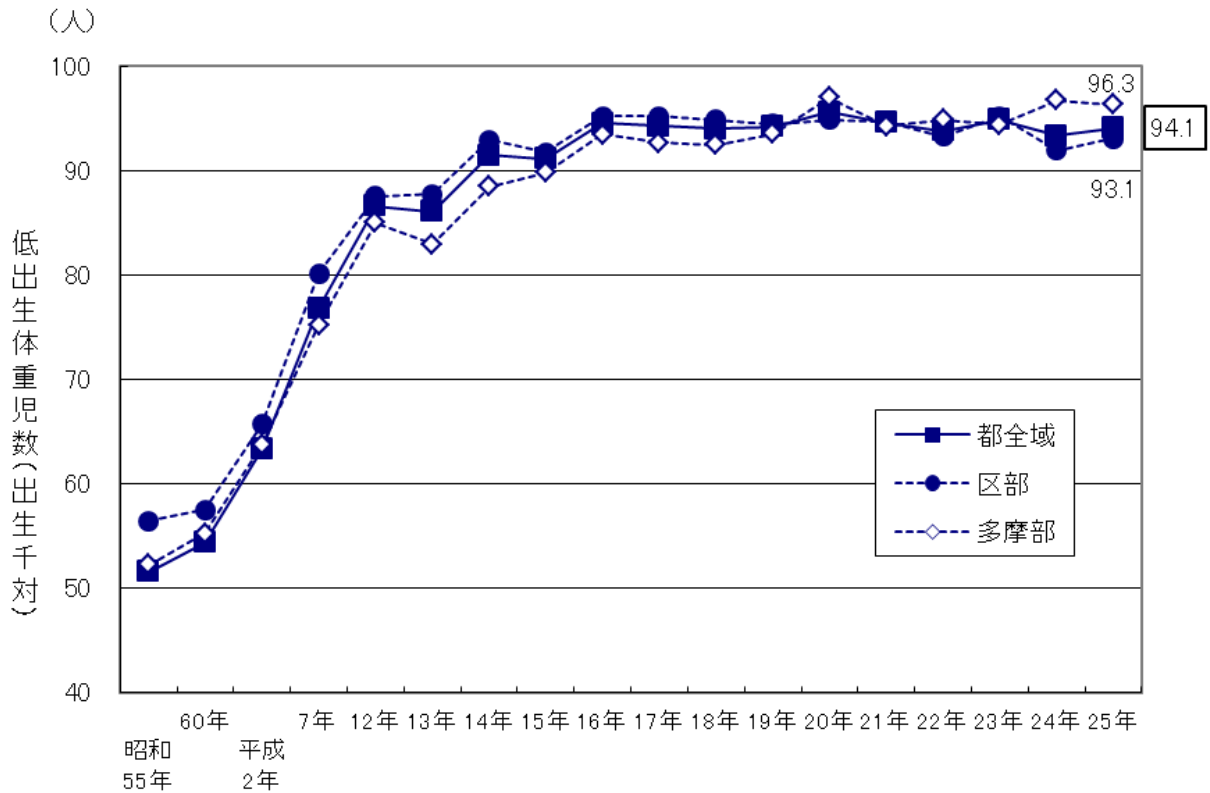
(昭和40年～平成25年)



出典：東京都衛生年報、人口動態統計、人口動態統計年報

(5) 東京都の低出生体重児数 (出生千対)

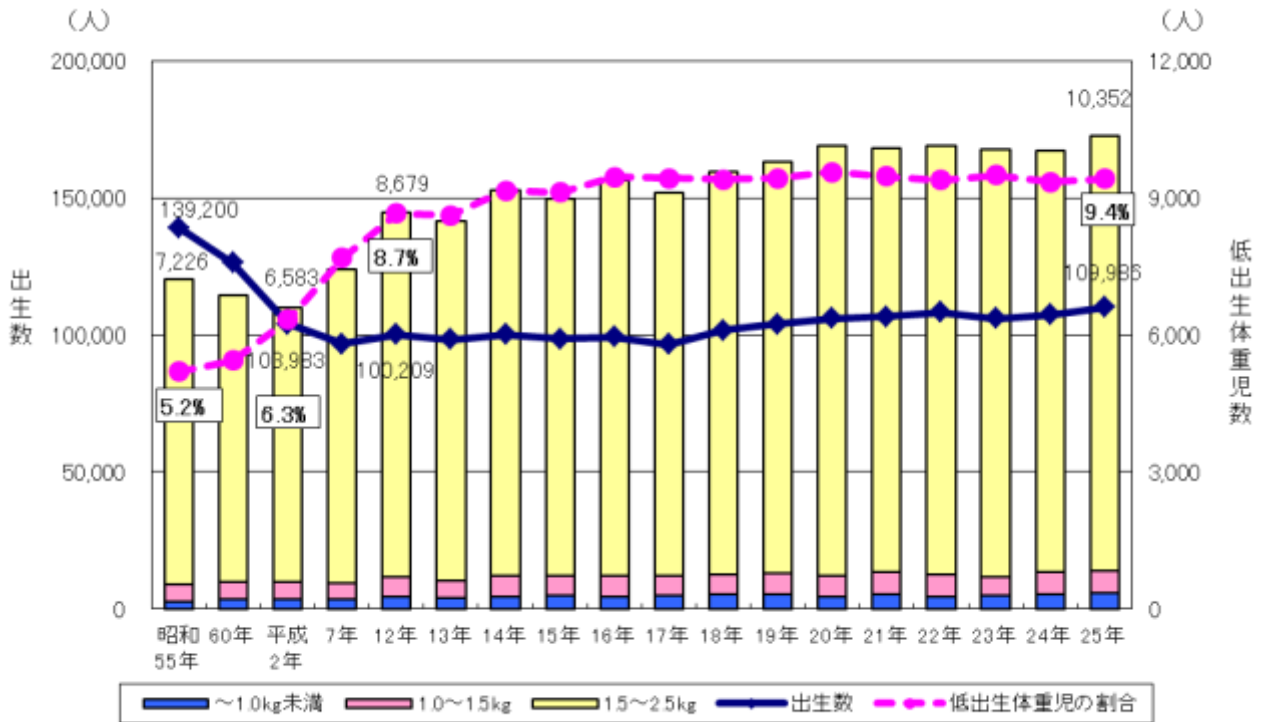
(昭和55年～平成25年)



出典：東京都衛生年報、人口動態統計、人口動態統計年報

(6) 東京都の低出生体重児の出生状況（体重別）

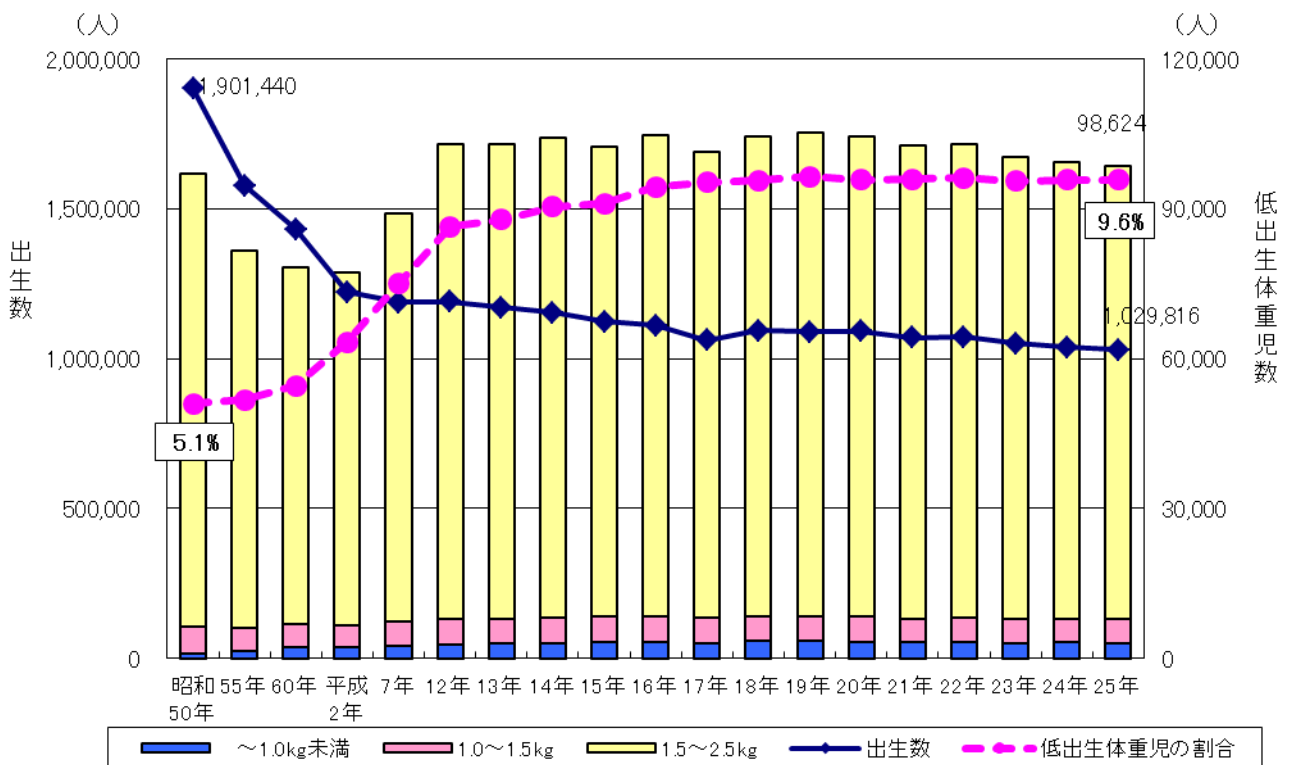
（昭和55年～平成25年）



出典：人口動態統計、人口動態統計年報

(7) 全国の低出生体重児の出生状況（体重別）

（昭和50年～平成25年）



出典：人口動態統計、人口動態統計年報

(8) 人口動態総覧（率）の国際比較

(2011年・平成23年)

	出生率 (人口千対)	合計特殊 出生率	死亡率 (人口千対)	乳児死亡率 (出生千対)	妊娠週28週 以後の死産比 率 (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)
日本	8.3	1.39	9.9	2.3	2.0	5.2	1.87
カナダ	11.0	...	7.0	...	...	...	...
アメリカ合衆国	12.7	...	8.1	...	...	6.8	2.81
フランス	12.5	2.00	8.4	3.3	...	3.7	2.05
ドイツ	8.1	1.36	10.4	3.6	3.6	4.0	2.29
イタリア	9.0	1.42	9.8	3.2	2.6	3.4	...
ロシア	12.6	...	13.5	7.3	4.5	9.2	4.68
イギリス	12.9	4.91	8.8	4.2	5.2	...	2.07

注:斜体は暫定値である。

※妊娠週28週以後の死産は妊娠週28週以後の死産と妊娠期間不詳の死産を加えたものである。

フランスについては、妊娠期間180日以後の死産である。

資料:日本は厚生労働省「人口動態統計」、諸外国はUN, Demographic Yearbook

出典：人口動態統計

(9) 全国と東京都の主たる母子保健指標（率：出生千対）

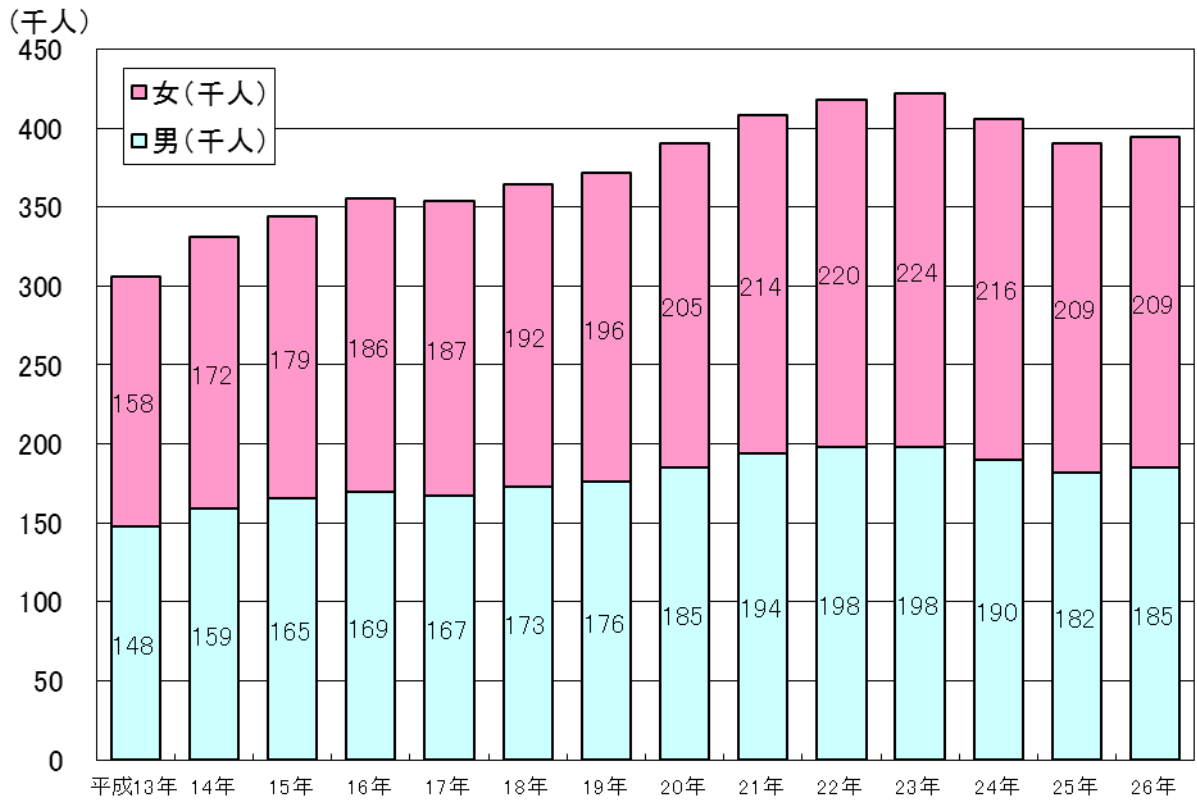
(平成7年～平成25年)

		7年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
後期死産率	全国	5.5	4.5	4.4	4.3	4.1	3.9	3.8	3.7	3.5	3.4	3.4	3.4	3.3	3.2	3.0
	東京都	6.0	4.2	4.2	4.7	4.2	4.4	3.8	3.6	3.4	3.6	3.2	3.2	3.1	2.9	3.0
乳児死亡率	全国	4.3	3.2	3.1	3.0	3.0	2.8	2.8	2.6	2.6	2.6	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1
	東京都	4.4	3.5	3.0	2.9	3.0	2.6	2.7	2.9	2.7	2.5	2.3	2.0	2.0	2.2	2.0
新生児死亡率	全国	2.2	1.8	1.6	1.7	1.7	1.5	1.4	1.3	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0
	東京都	2.3	2.0	1.6	1.7	1.4	1.2	1.3	1.5	1.4	1.1	1.1	0.9	0.9	1.1	0.9
早期 新生児死亡率	全国	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0	0.9	0.8	0.8	0.6	0.8	0.7
	東京都	1.5	1.4	1.1	1.1	0.9	0.8	0.9	1.1	1.0	0.7	0.7	0.7	0.6	0.8	0.6
周産期死亡率	全国	7.0	5.8	5.5	5.5	5.3	5.0	4.8	4.7	4.5	4.3	4.2	4.2	4.1	4.0	3.7
	東京都	7.5	5.6	5.3	5.8	5.1	5.2	4.8	4.7	4.4	4.3	3.9	3.9	3.7	3.7	3.6

出典：東京都衛生年報、人口動態統計、人口動態統計年報

(10) 東京都の外国人登録人口

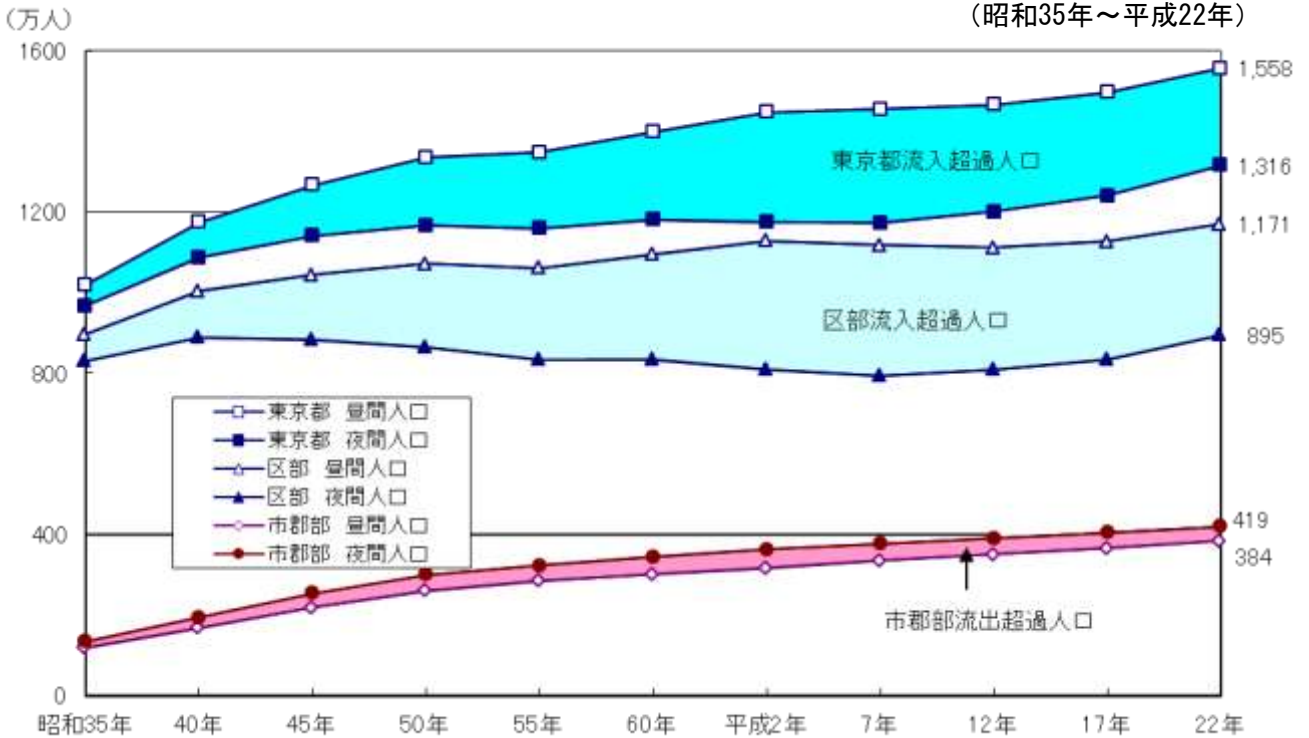
(平成13年～平成26年)



出典：東京都衛生年報、住民基本台帳

(11) 東京都の昼夜間人口

(昭和35年～平成22年)

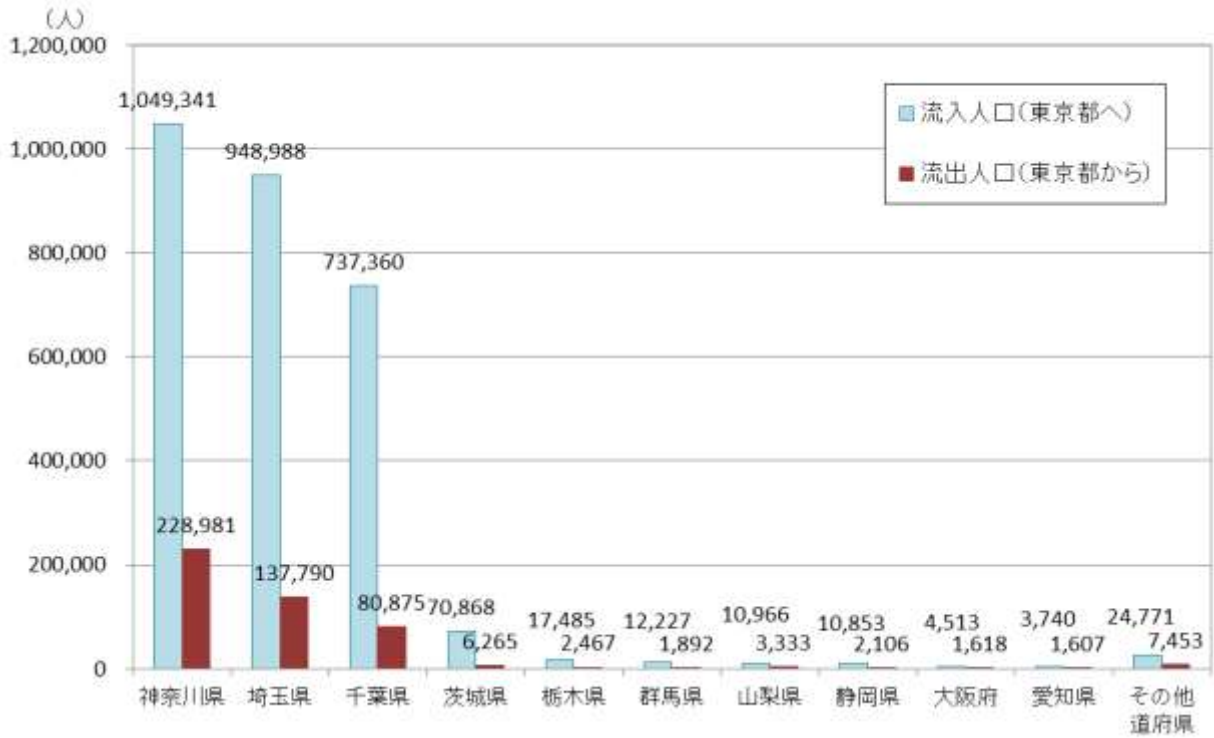


出典：国勢調査



(12) 東京都の流入・流出口（昼間人口）

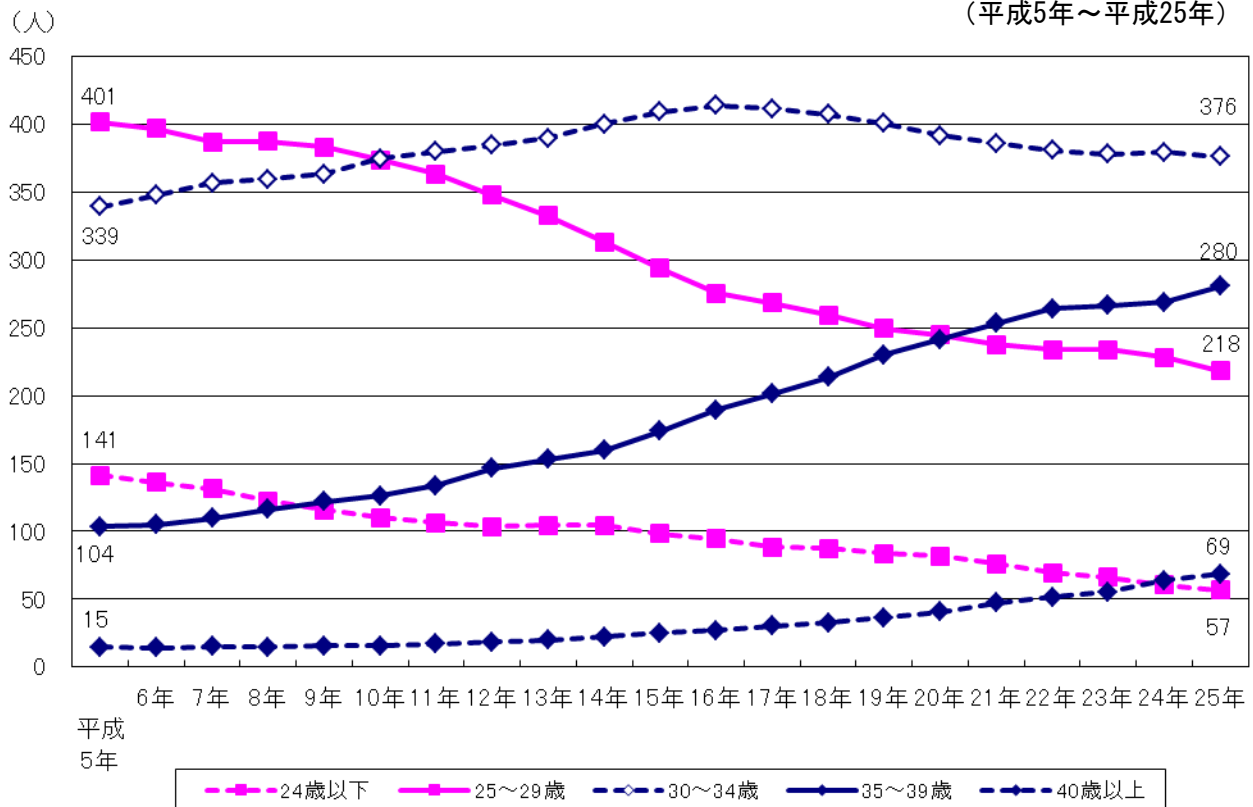
（平成22年）



出典：国勢調査

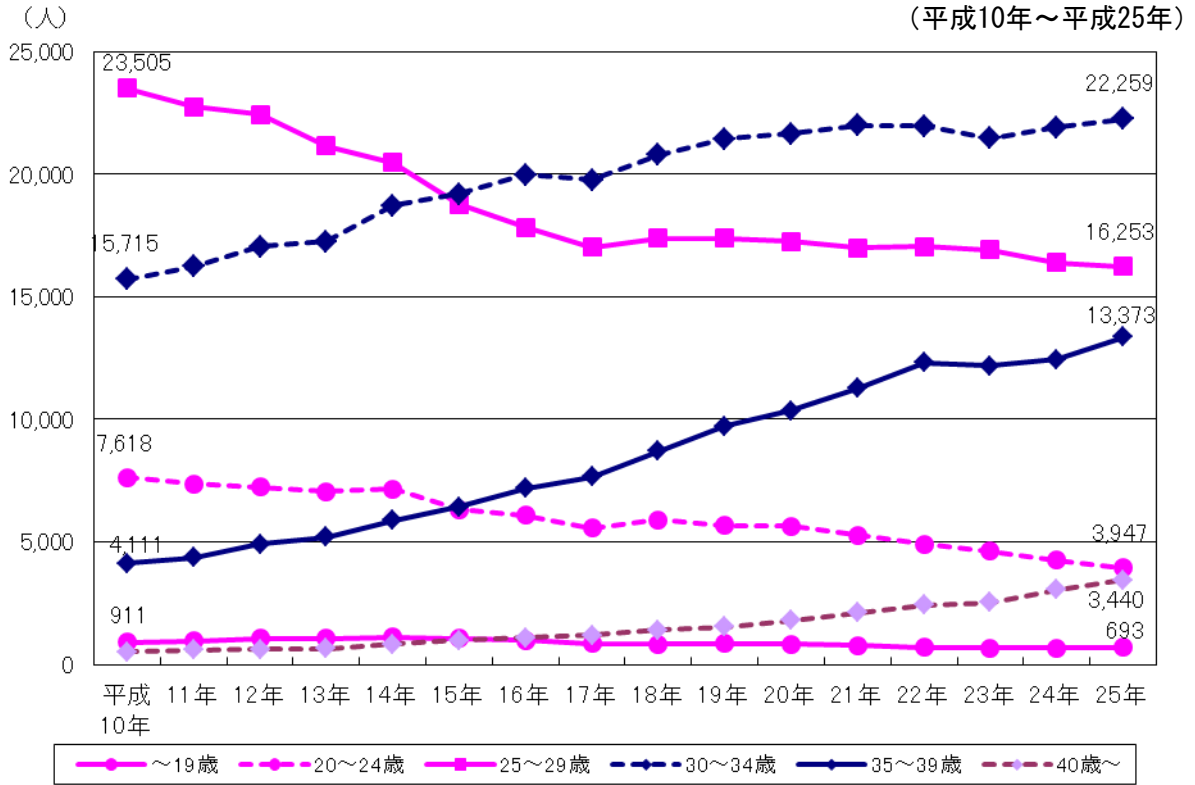
(13) 東京都における母の年齢（5歳階級）別出生数（出生千対）

（平成5年～平成25年）

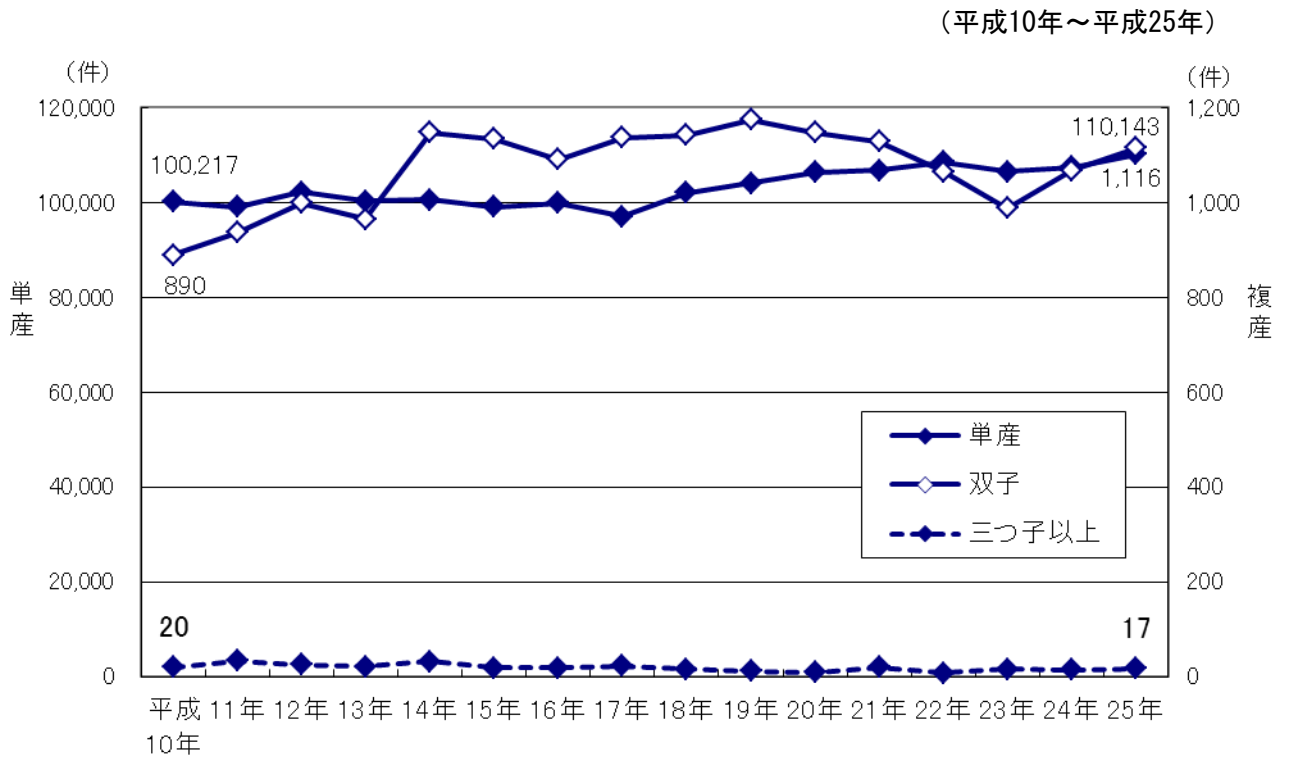


出典：東京都衛生年報、人口動態統計、人口動態統計年報

(14) 出生順位(第一子)の母の年齢(5歳階級)別出生数

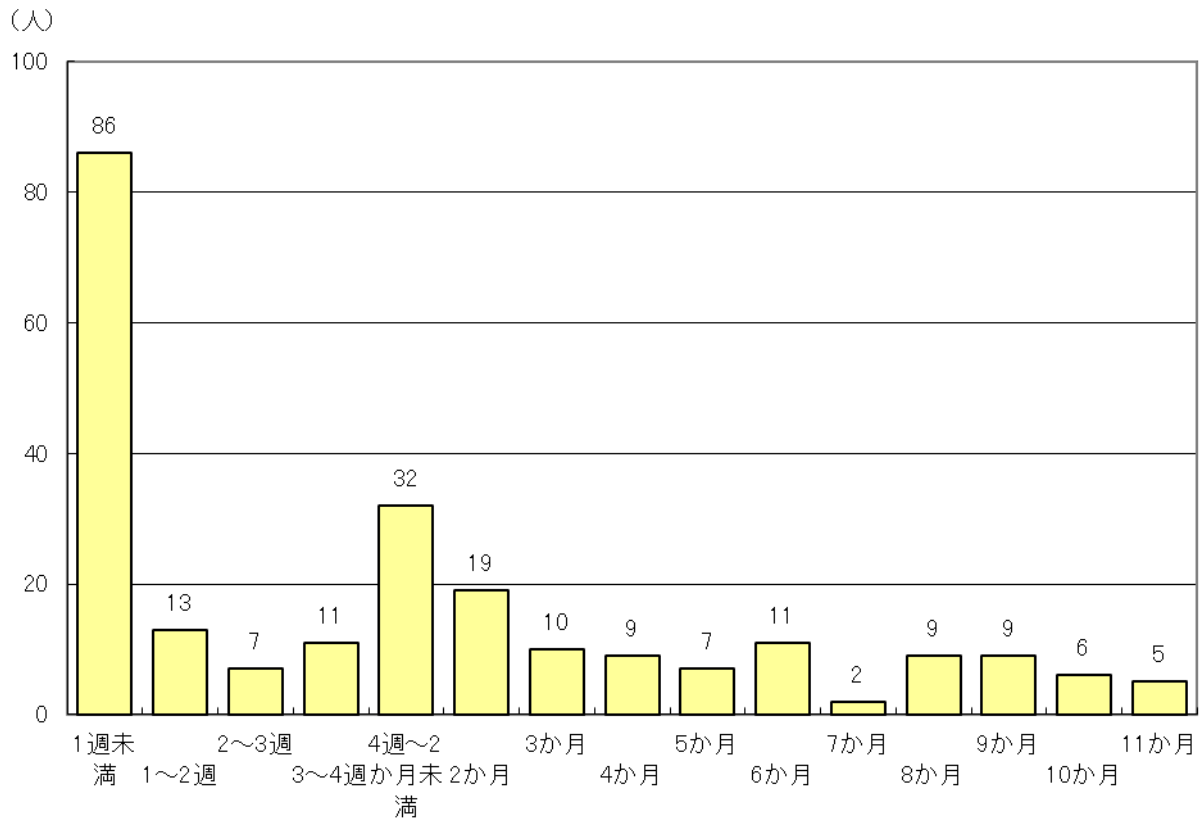


(15) 東京都における単産・複産の種類別にみた分娩件数



(16) 東京都の生存期間別乳児死亡数

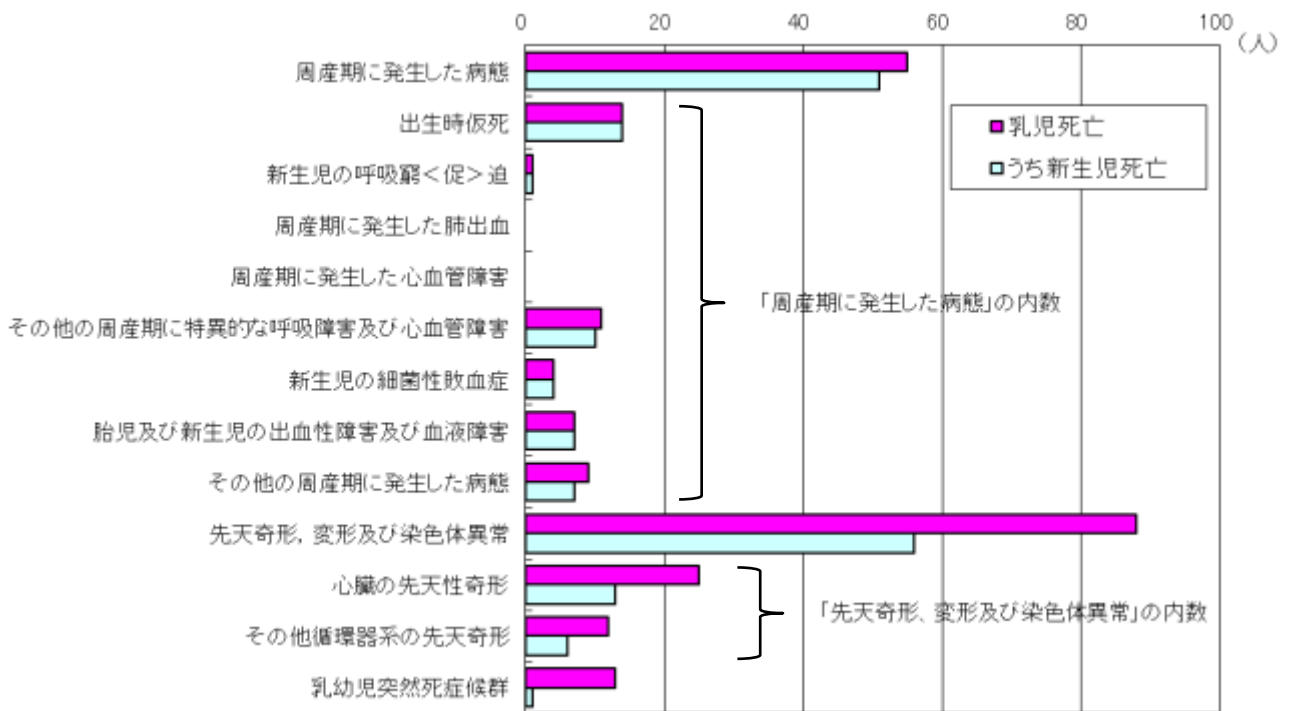
(平成24年)



出典：人口動態統計

(17) 乳児死亡と死因

(平成24年)



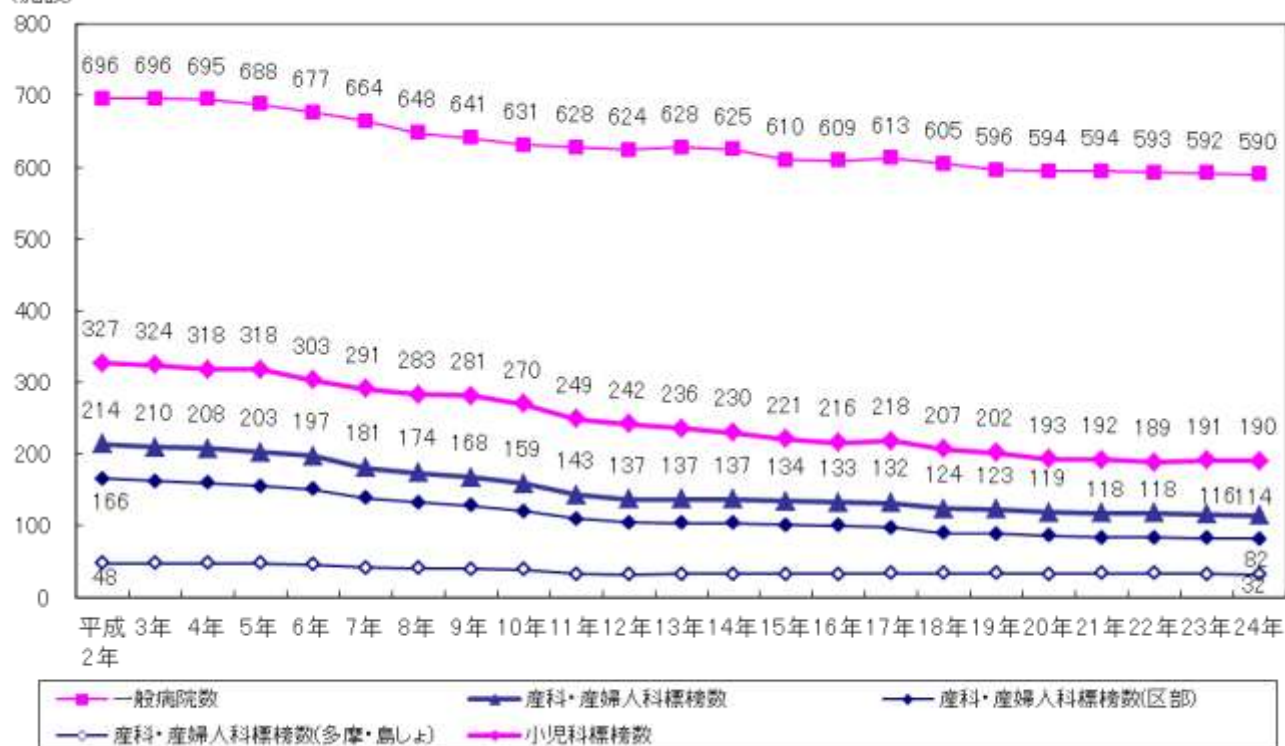
出典：人口動態統計

## 2 医療資源の状況

### (1) 東京都の病院数（総数、小児科、産科・産婦人科標榜数）

(施設)

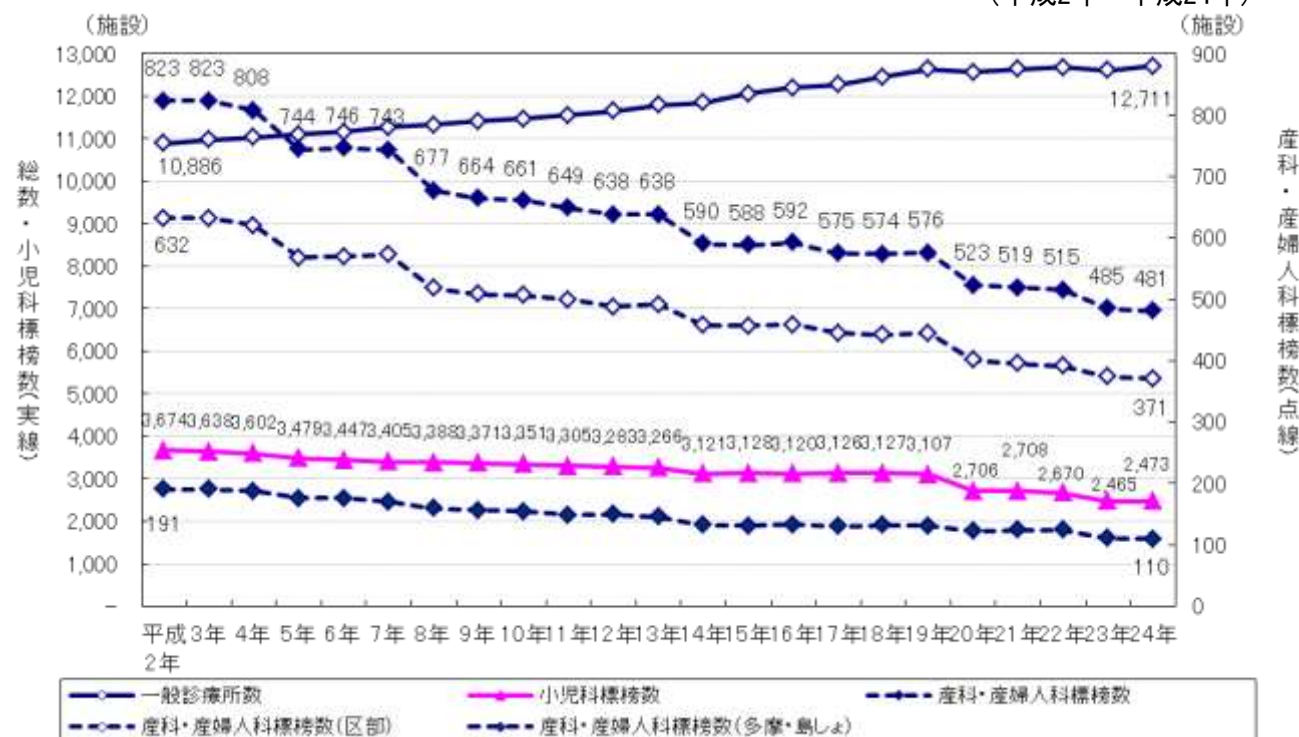
(平成2年～平成24年)



出典：東京都の医療施設

### (2) 東京都の診療所数（総数、小児科、産科・産婦人科標榜数）

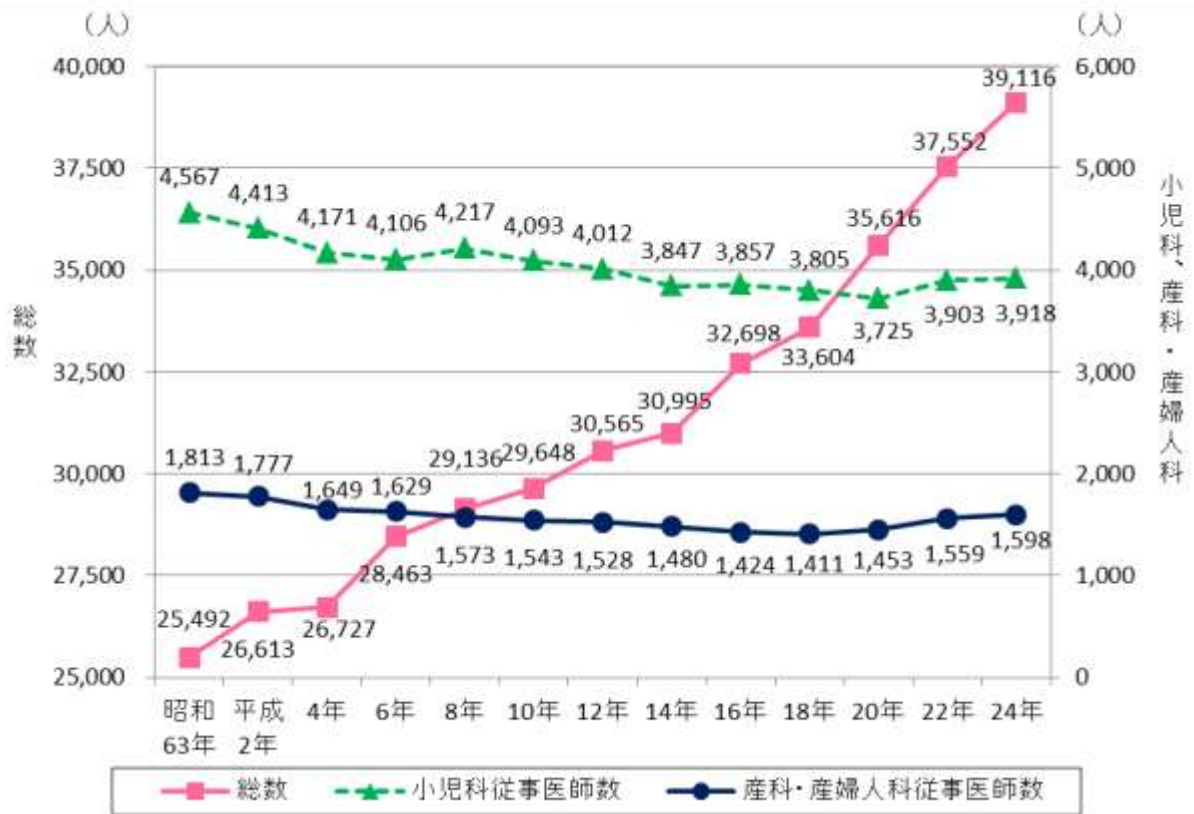
(平成2年～平成24年)



出典：東京都の医療施設

(3) 都内の医療施設に従事する医師数（総数、小児科、産科・産婦人科医師数）

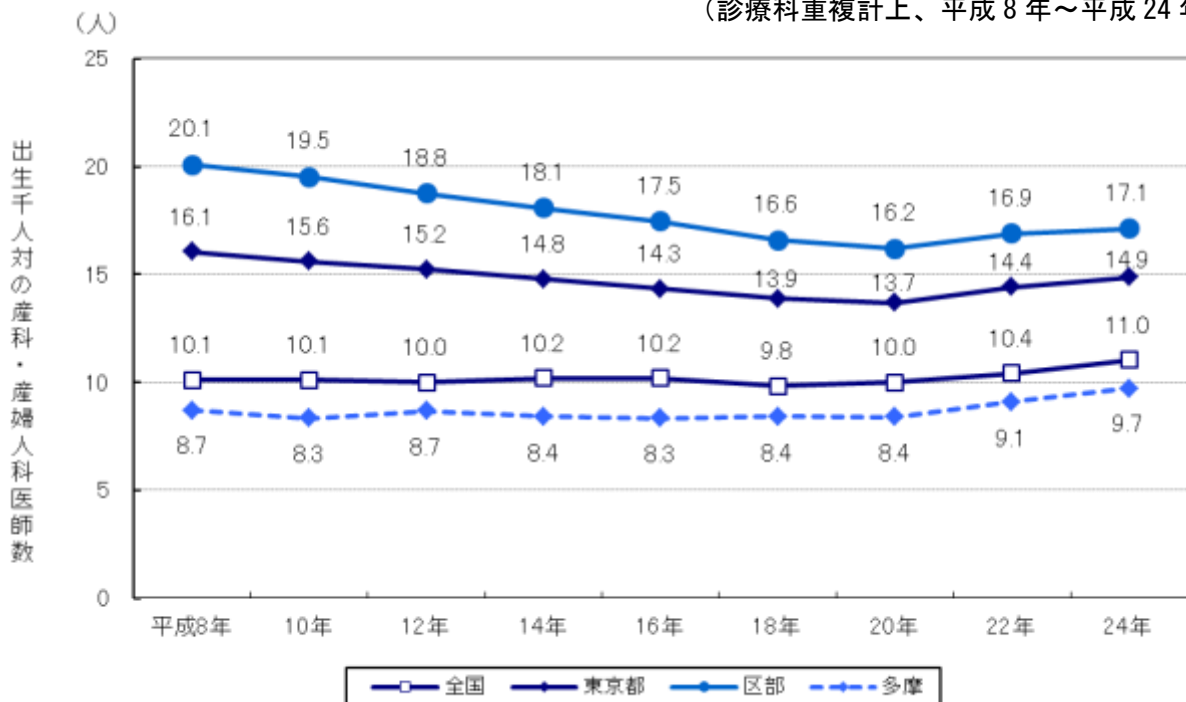
（診療科重複計上・昭和63年～平成24年）



出典：医師・歯科医師・薬剤師調査

(4) 全国と東京都の出生千人当たりの産科・産婦人科医師数

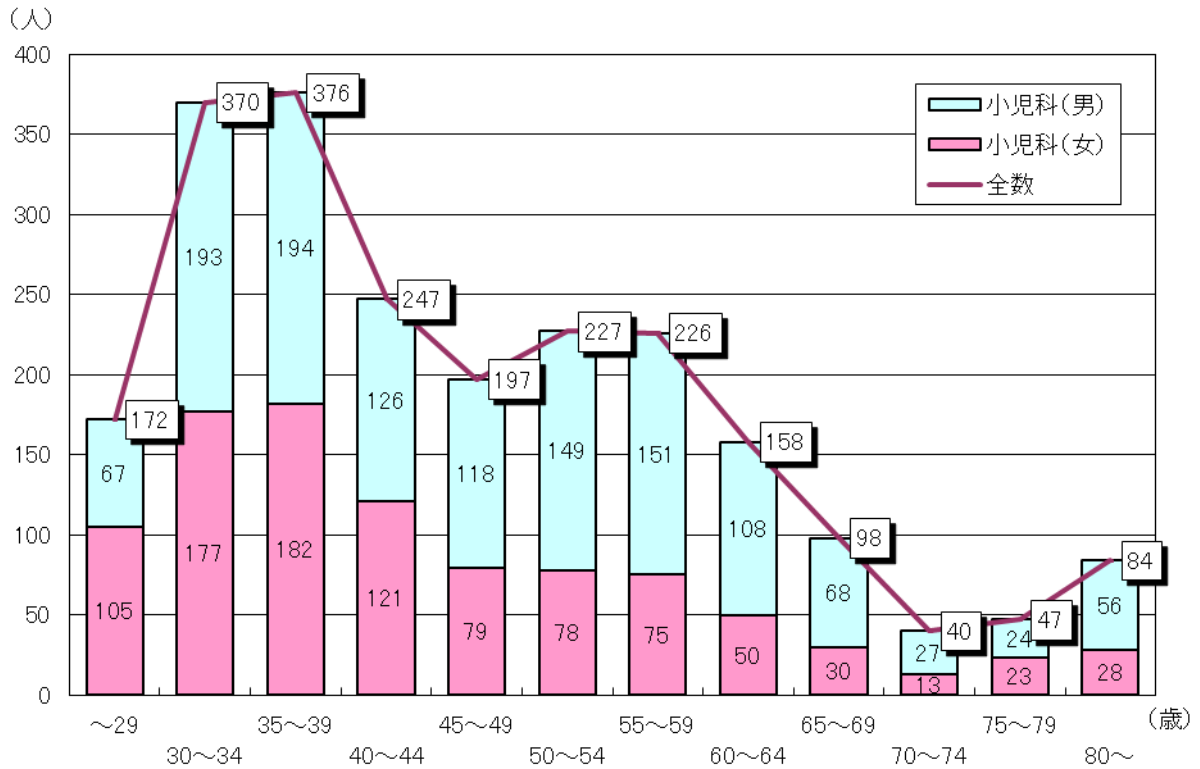
（診療科重複計上、平成8年～平成24年）



出典：医師・歯科医師・薬剤師調査

(5) 東京都の小児科医師数（年齢別・性別）

（平成 24 年）



出典：医師・歯科医師・薬剤師調査

(6) 東京都の産科・産婦人科医師数（年齢別・性別）

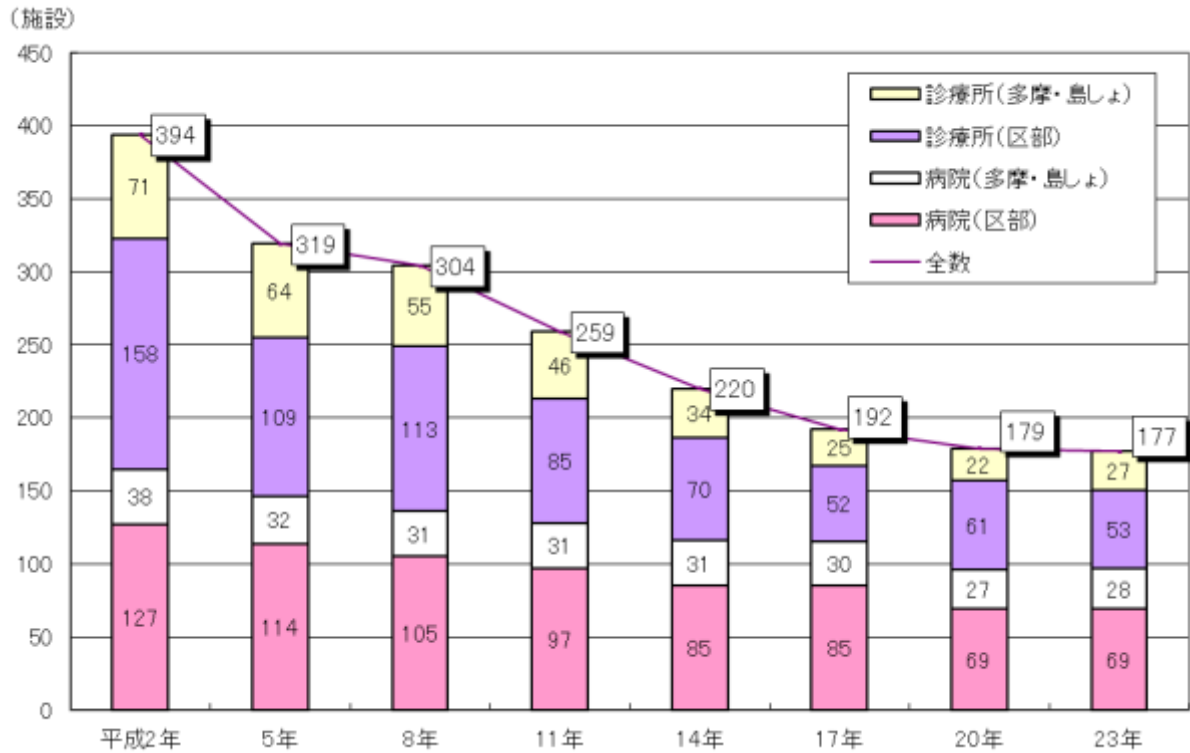
（平成 24 年）



出典：医師・歯科医師・薬剤師調査

(7) 都内分娩取扱施設数（各年9月1日～30日の実績）

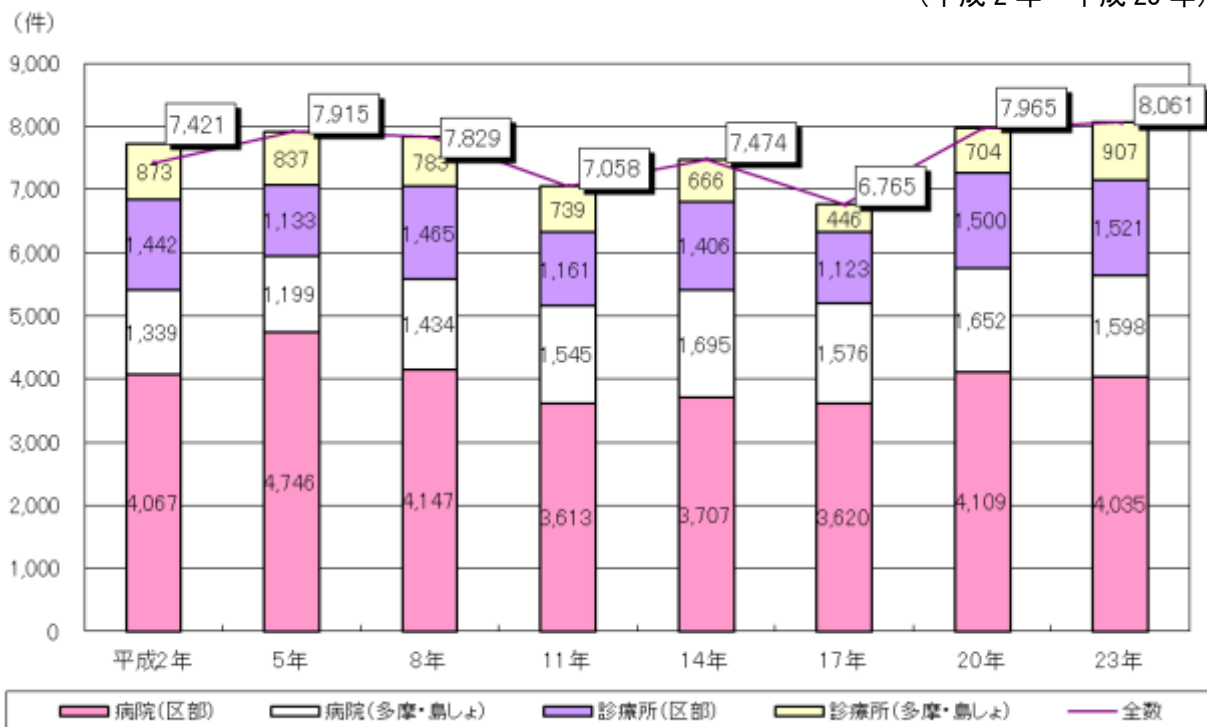
（平成2年～平成23年）



出典：医療施設静態調査

(8) 都内分娩取扱件数（各年9月1日～30日の実績）

（平成2年～平成23年）

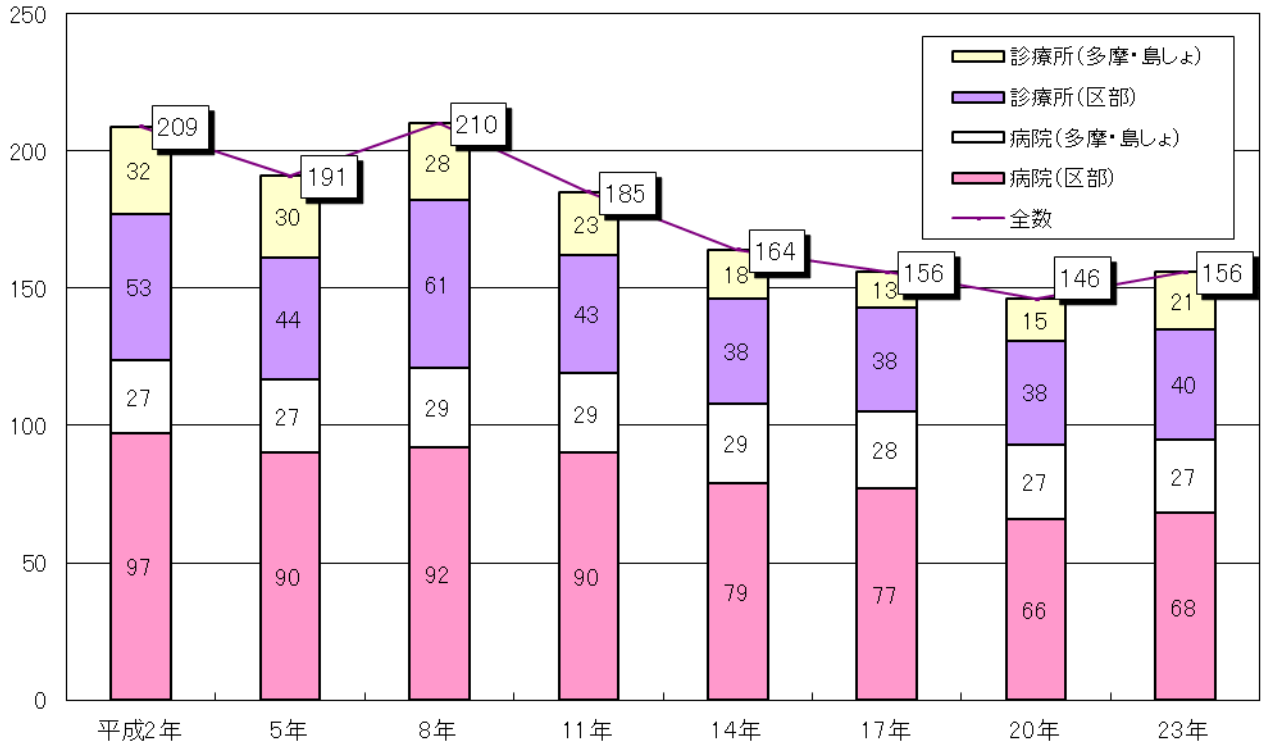


出典：医療施設静態調査

(9) 都内帝王切開実施施設数（各年9月1日～30日の実績）

(施設)

(平成2年～平成23年)

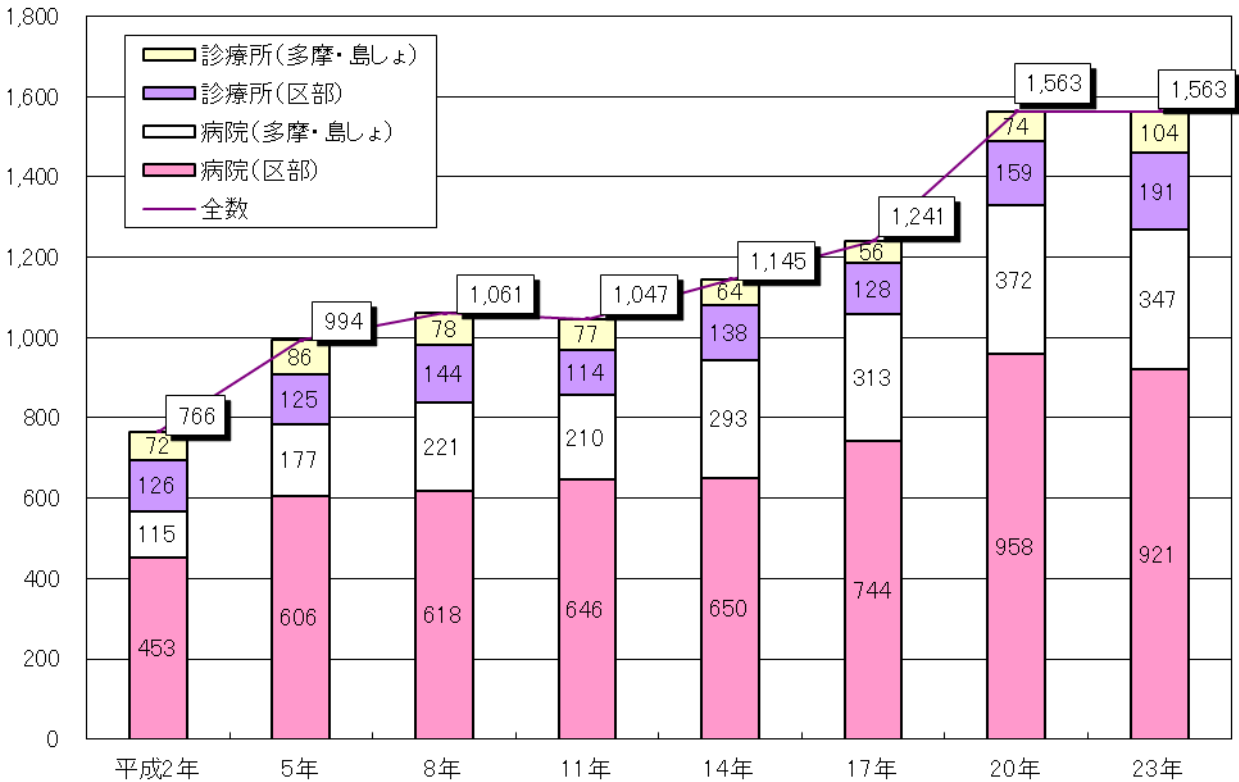


出典：医療施設静態調査

(10) 都内帝王切開実施件数（各年9月1日～30日の実績）

(平成2年～平成23年)

(件)

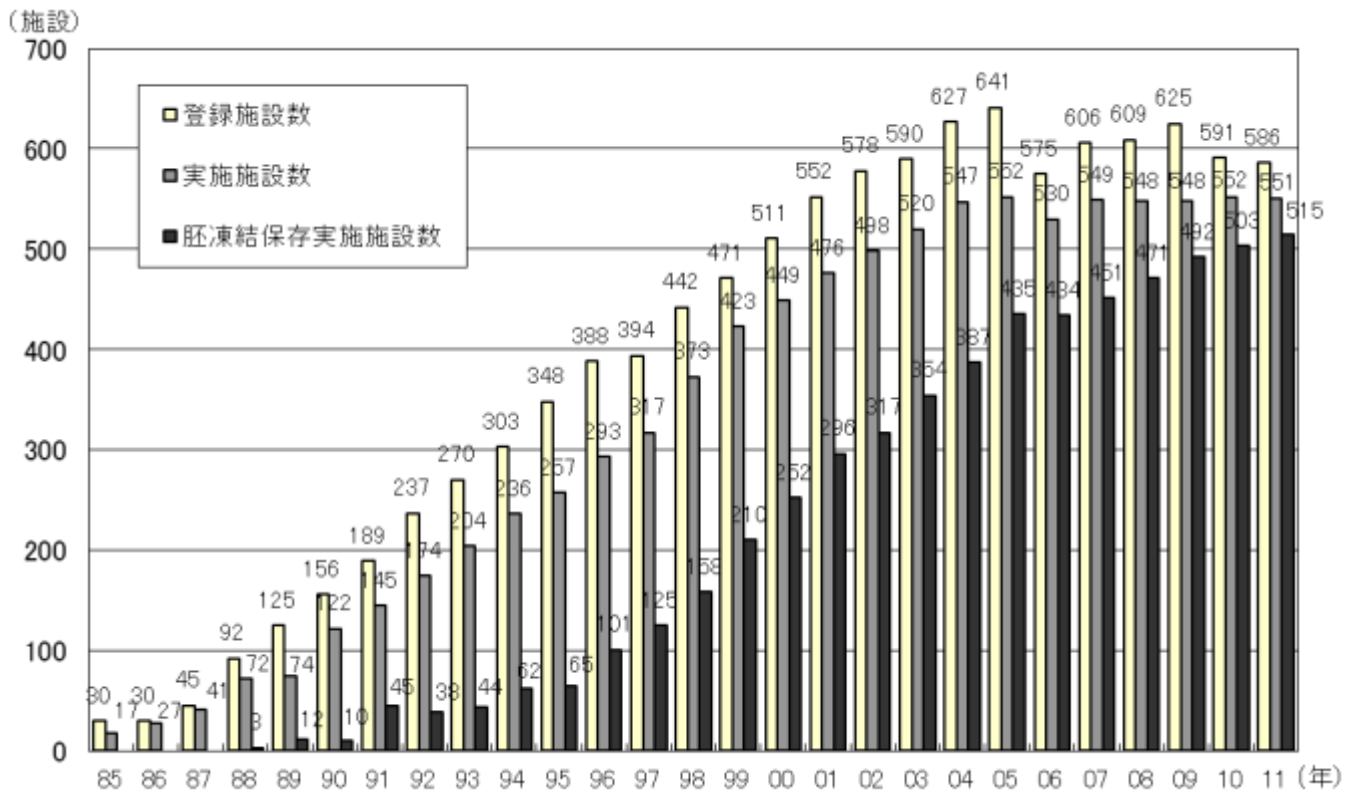


出典：医療施設静態調査



(11) 体外受精・胚移植等の登録・実施施設数

(昭和60年～平成23年)



出典：日本産婦人科学会内分泌委員会

### 3 周産期医療関係資料

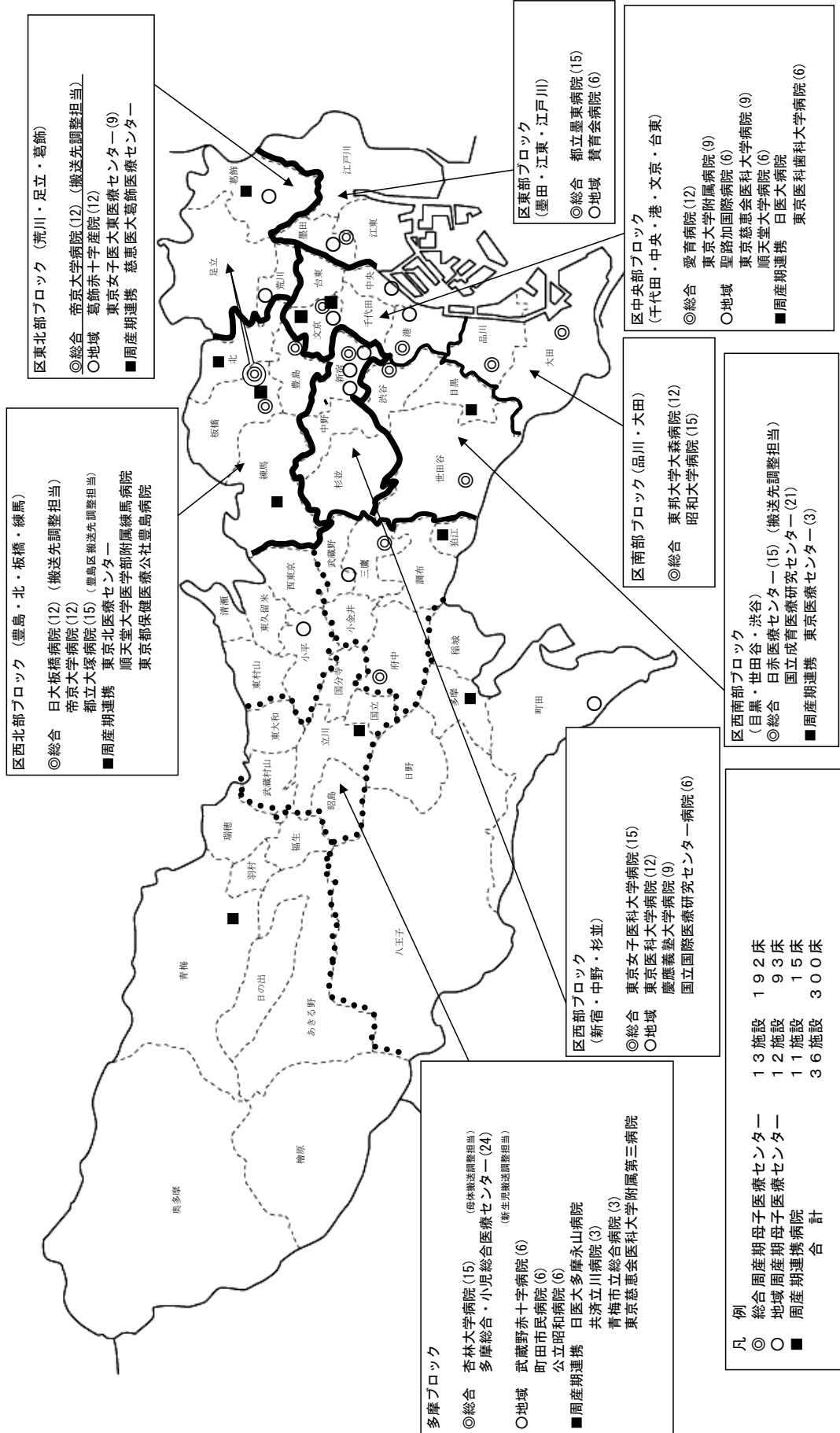
#### (1) 周産期医療対策事業の経緯

■：国の動向      ◇：都の動向

年 月	主な動き
昭和 53 年 10 月	◇ 新生児・未熟児救急医療事業開始（11 病院輪番制）
昭和 62 年 10 月	◇ 母子保健サービスセンター開設 高度母子医療機関の空床状況、専門医の存否情報の提供
昭和 63 年 2 月	◇ 母子保健情報システム稼動
平成 6 年 7 月	■ 母子保健法の改正
平成 7 年 3 月	■ 国研究班報告（出生千人に NICU2 床が必要）
4 月	■ 小児医療施設整備事業の実施
平成 8 年 3 月	◇ 施設整備費の補助 ◇ 母子保健情報システムのオンライン廃止
4 月	■ 周産期医療対策事業開始
5 月	◇ 母子医療対策検討委員会の設置
10 月	◇ 母子医療対策検討委員会の中間報告 ① NICU 整備目標を国の研究班報告に基づき 200 床とする。 ② 多摩地域にドクターカーの整備が急務
平成 9 年 4 月	◇ 母子医療対策検討委員会の最終報告 ① NICU 整備目標 200 床とし、多摩地域を優先して整備 ② 多摩地域の搬送体制として都立八王子小児病院にドクターカーを整備 ③ NICU の後方病床として地域小児医療機関の活用が有効 ④ 保健所等によるフォロー体制と関係機関の連携
7 月	◇ 都周産期医療協議会の設置 都周産期母子医療センター整備基準の検討 都周産期母子医療センターの指定・認定（総合 3、地域 15、NICU148）
9 月	◇ 新生児・未熟児救急医療事業の終了
10 月	◇ 都周産期医療対策事業の開始 ◇ 周産期医療情報ネットワーク事業開始
平成 10 年 2 月	◇ 新生児ドクターカーの配備（都立八王子小児病院） ◇ 新生児ドクターカー委託事業開始
4 月	◇ 都周産期医療協議会に部会を設置
平成 11 年 2 月	◇ 総合周産期母子医療センターと連携した周産期医療関係者研修の開始
3 月	◇ 多胎情報の提供開始
平成 12 年 3 月	◇ 母子保健サービスセンター廃止
4 月	◇ 周産期医療情報ネットワーク事業開始（母子保健サービスセンター事業から引き継ぐ） ◇ 多摩地域周産期医療連携強化事業実施（12 施設で開始）
平成 14 年 12 月	◇ 都保健医療計画改定（NICU200 床整備）

平成 17 年 4 月	■ 周産期医療施設オープン病院化モデル事業実施（平成 17～19 年度）
11 月	◇ 周産期医療施設オープン病院化モデル事業実施
平成 18 年 6 月	◇ 周産期医療対策部会の設置 検討開始
平成 19 年 5 月	◇ 搬送部会の設置 検討開始
平成 20 年 3 月	◇ 都保健医療計画の改定
9 月	◇ 搬送事案発生
11 月	◇ 周産期医療協議会で対応策検討 ◇ 周産期医療体制 PT 設置 検討
	■ 周産期医療と救急医療の確保と連携に関する懇談会設置
12 月	◇ 母体救命対応の総合周産期母子医療センター(仮称)作業部会の設置 検討開始
平成 21 年 1 月	◇ 搬送コーディネーター専門部会の設置 検討
3 月	◇ 周産期連携病院の創設 指定 6 病院 ◇ 母体救命対応総合周産期母子医療センター（いわゆる「スーパー総合周産期センター」）創設 3 病院指定
7 月	◇ NICU 退院支援検討会の設置、検討
8 月	◇ 周産期搬送コーディネーターを東京消防庁に設置し搬送調整を開始
11 月	◇ 母体救命搬送システム検証部会の設置、検討
12 月	◇ NICU 整備目標を設定（平成 26 年度末までに 320 床）
平成 22 年 1 月	■ 周産期医療体制整備指針改定
3 月	◇ 多摩総合医療センター・小児総合医療センターの開設
5 月	◇ 周産期医療体制整備計画策定部会の設置、検討開始
6 月	◇ 周産期搬送部会の設置、検討
9 月	◇ 多摩新生児連携病院の創設 指定 1 病院
10 月	◇ 東京都周産期医療体制整備計画の策定（平成 26 年度末までに NICU 320 床）
平成 24 年 1 月	◇ 神奈川県との周産期搬送に係る連携体制の試行を開始
平成 25 年 3 月	◇ 胎児救急搬送システムを運用開始 ◇ 都保健医療計画の改定
8 月	◇ NICU 等退院支援検討部会の設置、検討
平成 26 年 4 月	◇ 埼玉県との周産期搬送に係る連携体制の試行を開始
6 月	◇ 周産期医療体制整備計画策定部会の設置、検討開始

(2) 周産期母子医療センター及び周産期連携病院の配置 (平成27年3月1日現在)



(3) 周産期母子医療センター及び周産期連携病院の現況（平成27年3月1日現在）

□ 周産期母子医療センター

区分	施設名	所在地	NICU (床)	M-FICU (床)	GCU (床)	指定・認定 年 月	
区部	総合	愛育病院	港区	12	9	24	11年 4月
		東京大学医学部附属病院	文京区	9	6	15	23年 4月
		昭和大学病院	品川区	15	9	31	15年 4月
		東邦大学医療センター大森病院	大田区	12	9	24	9年10月
		日本赤十字社医療センター	渋谷区	15	6	40	13年11月
		国立成育医療研究センター	世田谷区	21	6	30	24年8月
		東京女子医科大学病院	新宿区	15	9	24	9年10月
		都立大塚病院	豊島区	15	6	30	21年10月
		帝京大学医学部附属病院	板橋区	12	10	24	10年 4月
		日本大学医学部附属板橋病院	板橋区	12	9	24	14年 4月
		都立墨東病院	墨田区	15	9	30	11年 6月
	総合周産期母子医療センター区部計(11施設)			153	88	296	
	地域	聖路加国際病院	中央区	6	—	10	12年 4月
		東京慈恵会医科大学附属病院	港区	9	—	18	11年 1月
		順天堂大学医学部附属順天堂医院	文京区	6	4	22	9年10月
		東京医科大学病院	新宿区	12	—	14	9年10月
		慶應義塾大学病院	新宿区	9	6	18	16年 6月
		国立国際医療研究センター病院	新宿区	6	—	6	22年10月
		東京女子医科大学東医療センター	荒川区	9	—	18	16年 9月
		葛飾赤十字産院	葛飾区	12	—	20	9年10月
賛育会病院		墨田区	6	—	17	9年10月	
地域周産期母子医療センター区部計(9施設)			75	10	143		
区部計(20施設)			228	98	439		
多摩	総合	杏林大学医学部付属病院	三鷹市	15	12	24	9年10月
		都立多摩総合医療センター・小児総合医療センター	府中市	24	9	48	22年 4月
	総合周産期母子医療センター多摩計(2施設)			39	21	72	
	地域	町田市市民病院	町田市	6	—	12	21年 2月
		武蔵野赤十字病院	武蔵野市	6	—	12	18年 4月
		公立昭和病院	小平市	6	—	9	25年 4月
地域周産期母子医療センター多摩計(3施設)			18	0	33		
多摩計(5施設)			57	21	105		
合計(25施設)			285	119	544		

(注) 病床数(NICU及びM-FICU)は認定病床数である。

□ 周産期連携病院

区分	施設名	所在地	NICU (床)	M-FICU (床)	GCU (床)	指定年月
区部	日本医科大学付属病院	文京区	—	—	—	21年 3月
	東京医科歯科大学医学部附属病院	文京区	6	—	3	24年 4月
	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	目黒区	3	—	—	21年 3月
	東京北医療センター	北区	—	—	—	21年 3月
	東京都保健医療公社豊島病院	板橋区	—	—	—	22年10月
	順天堂大学医学部附属練馬病院	練馬区	—	—	—	21年11月
	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	葛飾区	—	—	—	21年 4月
	周産期連携病院 区部計(7施設)			9	0	3
多摩	青梅市立総合病院	青梅市	3	—	6	22年 4月
	日本医科大学多摩永山病院	多摩市	—	—	—	21年 3月
	国家公務員共済組合連合会 立川病院	立川市	3	—	5	21年 3月
	東京慈恵会医科大学附属第三病院	狛江市	—	—	—	25年 1月
	周産期連携病院 多摩計(4施設)			6	0	11
合計(11施設)			15	0	14	
計(36施設)			300	119	558	



(5) 全国と東京都の医療施設

	全国	東京		
		区部	多摩	
周産期母子医療センター等	392	36	27	9
総合周産期母子医療センター	100	13	11	2
地域周産期母子医療センター	292	12	9	3
周産期連携病院	-	11	7	4
NICU病床数	2,765	315	246	69
MFICU病床数	624	119	95	21

全国は医療施設調査平成23年10月1日現在、東京都は平成27年3月1日現在の医療施設・病床数

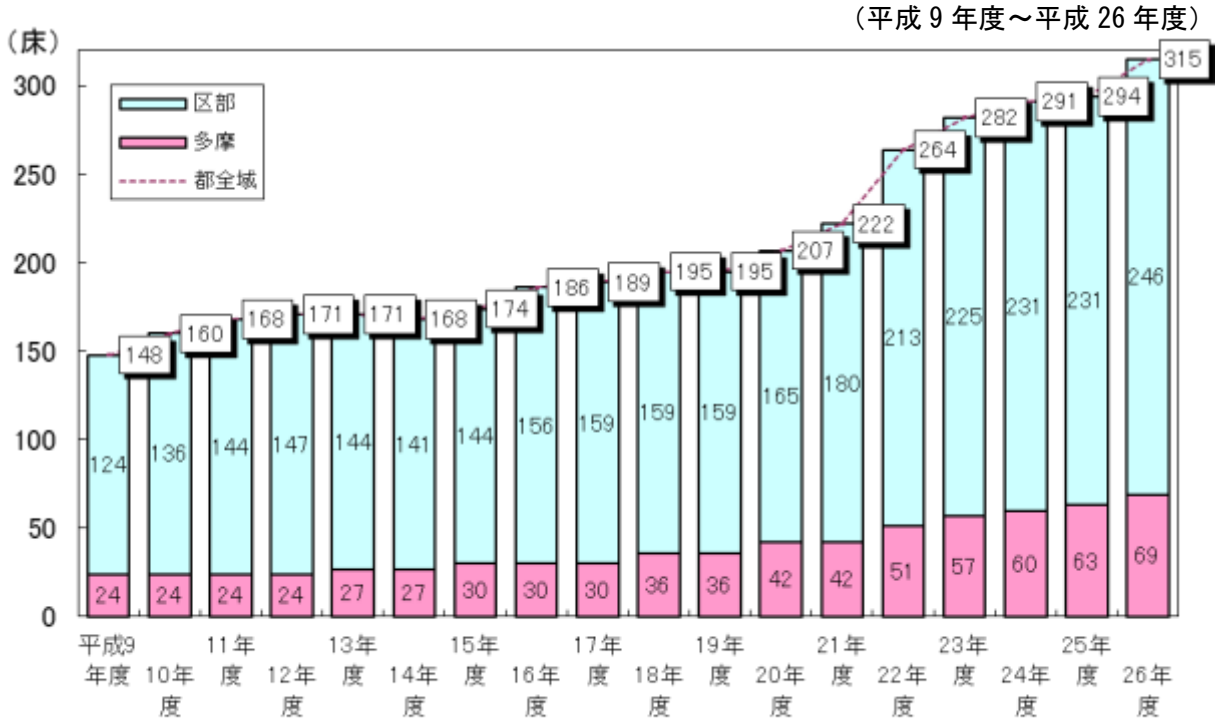
出典：厚生労働省・東京都資料

(6) 東京都及び近県の周産期医療の状況

	種別	平成26年4月1日現在
埼玉県	総合周産期センター	1所
	地域周産期センター	9所
	周産期センター等NICU数	118床
	出生一万対NICU数	20.5床
	出生数	57,470人
	低出生体重児	5,537人
千葉県	総合周産期センター	2所
	地域周産期センター	7所
	周産期センター等NICU数	123床(平成26年3月31日現在)
	出生一万対NICU数	25.4床
	出生数	48,343人
	低出生体重児	4,514人
神奈川県	総合周産期センター	5所
	地域周産期センター	15所
	周産期センター等NICU数	198床
	出生一万対NICU数	26.6床
	出生数	74,320人
	低出生体重児	6,953人
東京都	総合周産期センター	13所
	地域周産期センター	12所
	周産期センター等NICU数	294床
	出生一万対NICU数	26.7床
	出生数	109,986人
	低出生体重児	10,352人

出典：人口動態統計年報、厚生労働省資料、東京都福祉保健局資料等

(7) 東京都のNICU病床

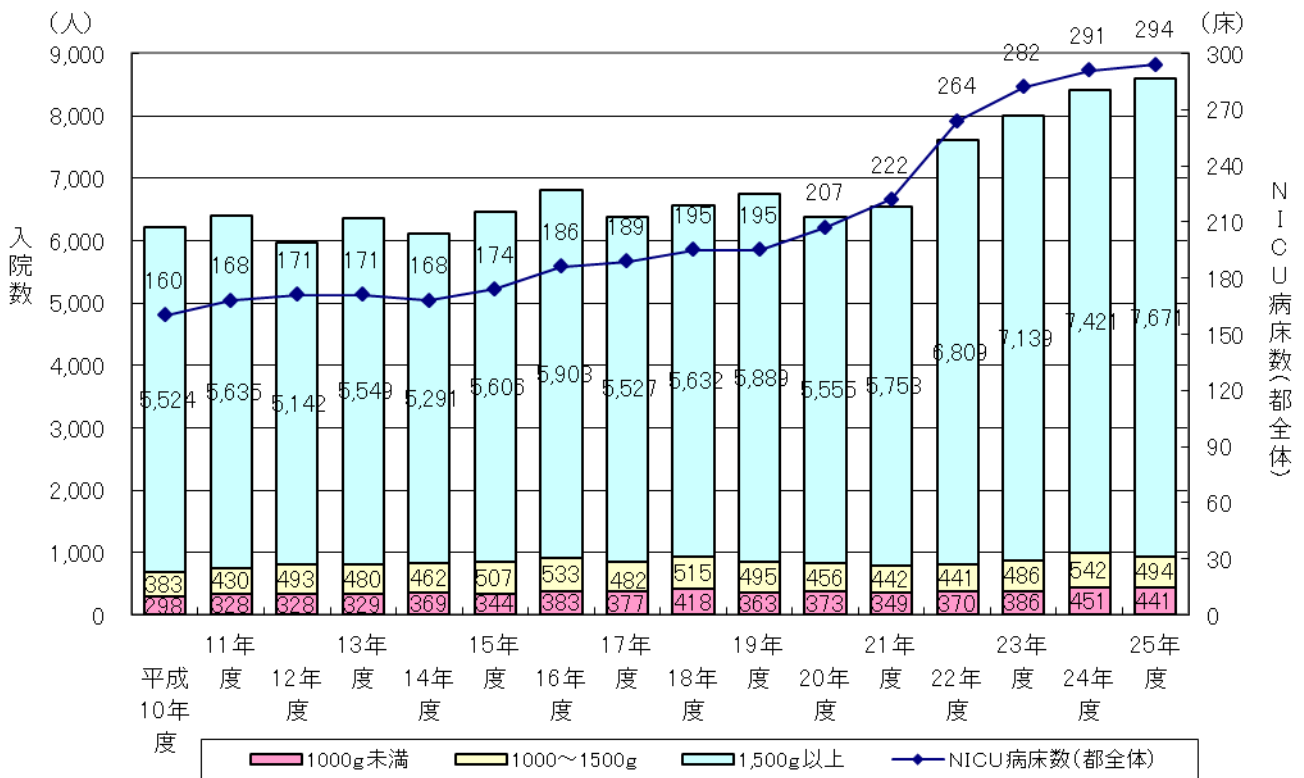


※ 各年度3月現在の整備病床数(床)

出典：東京都福祉保健局資料

(8) 東京都の周産期母子医療センターの入院者数

(平成10年度～平成25年度)

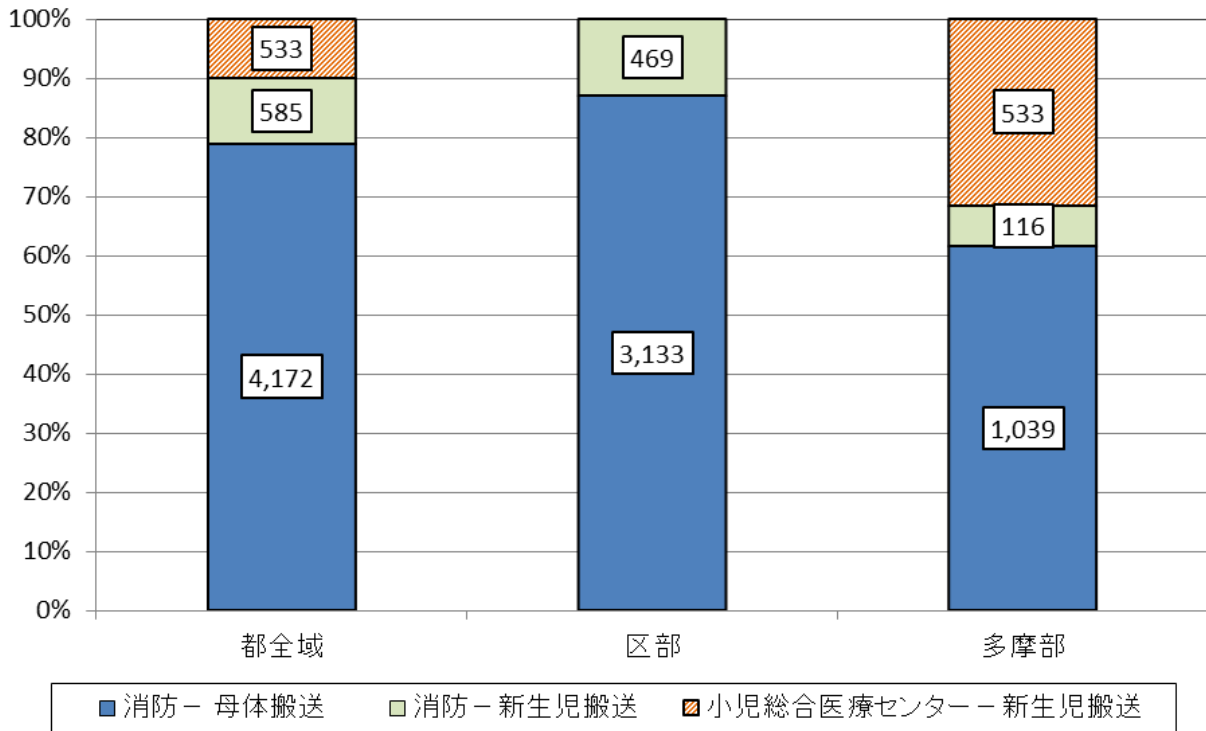


出典：人口動態統計、東京都周産期母子医療センター患者取扱実績



(9) 東京都における母体搬送・新生児搬送の件数と割合

(平成 25 年)



注 稲城市、島しょの搬送は含んでいない。

出典：東京消防庁資料、小児総合医療センター資料

(10) 周産期母子医療センターにおける母体搬送・新生児搬送の受入れ状況

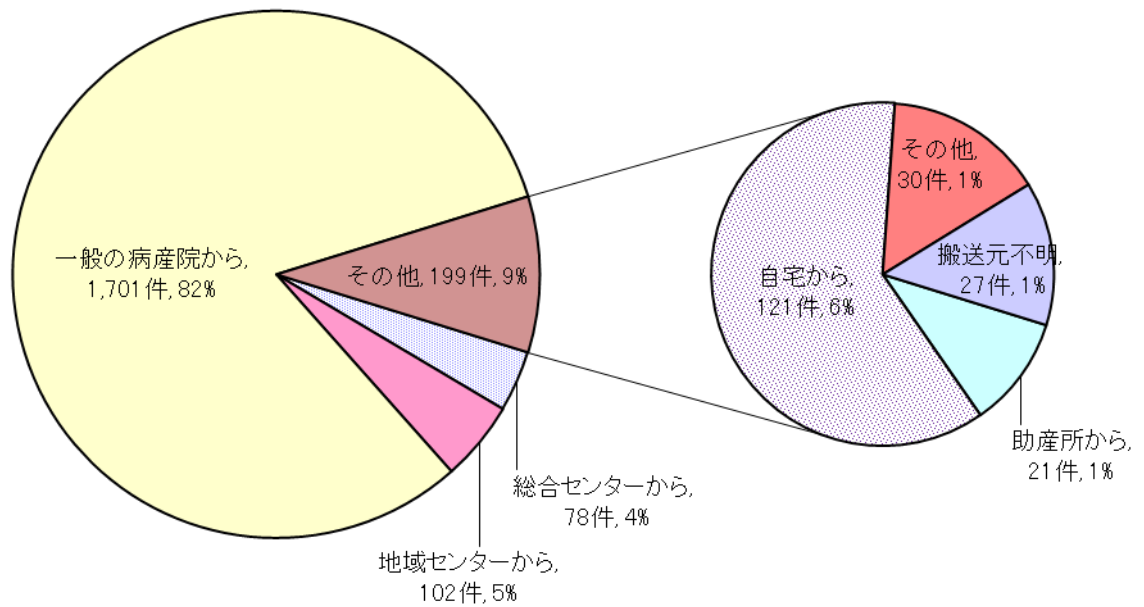
(平成 10 年度～平成 25 年度)



出典：東京都周産期母子医療センター患者取扱実績

(11) 周産期母子医療センターへの母体搬送の内訳

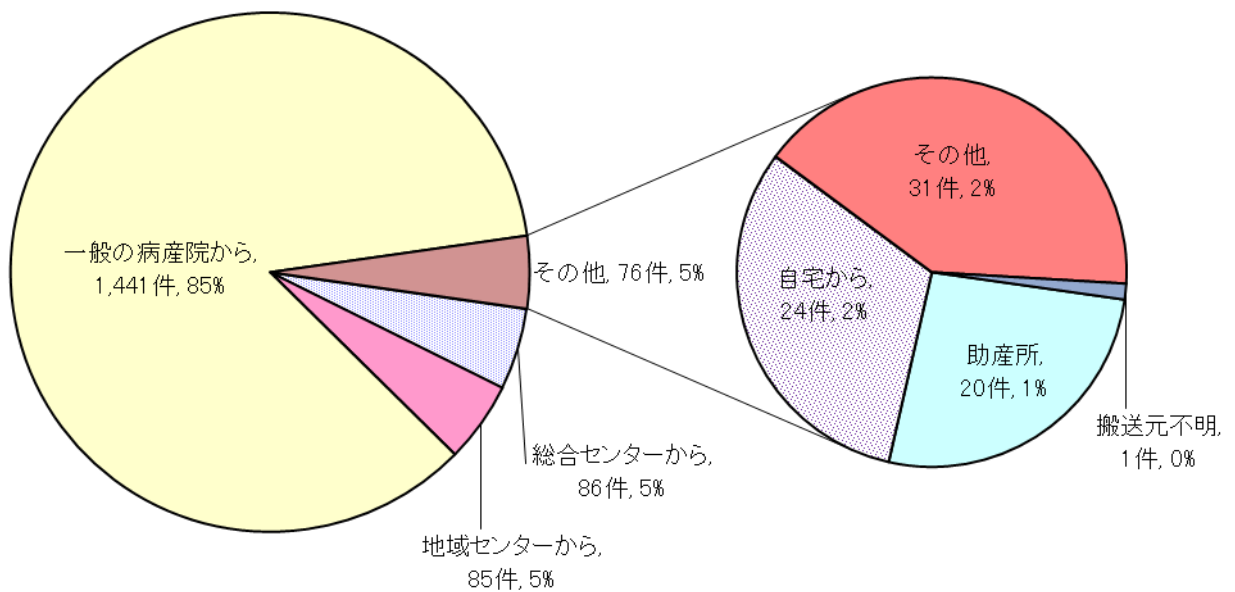
(平成 25 年度)



出典：東京都周産期母子医療センター患者取扱実績

(12) 周産期母子医療センターへの新生児搬送の内訳

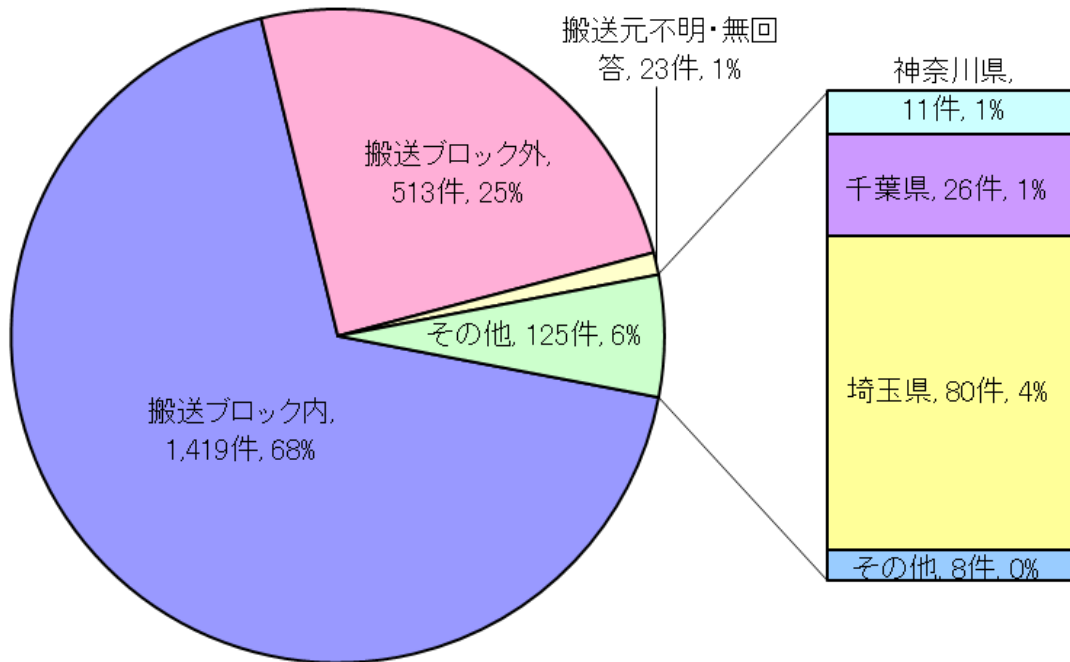
(平成 25 年度)



出典：東京都周産期母子医療センター患者取扱実績

(13) 周産期母子医療センターへの母体搬送の搬送元ブロック

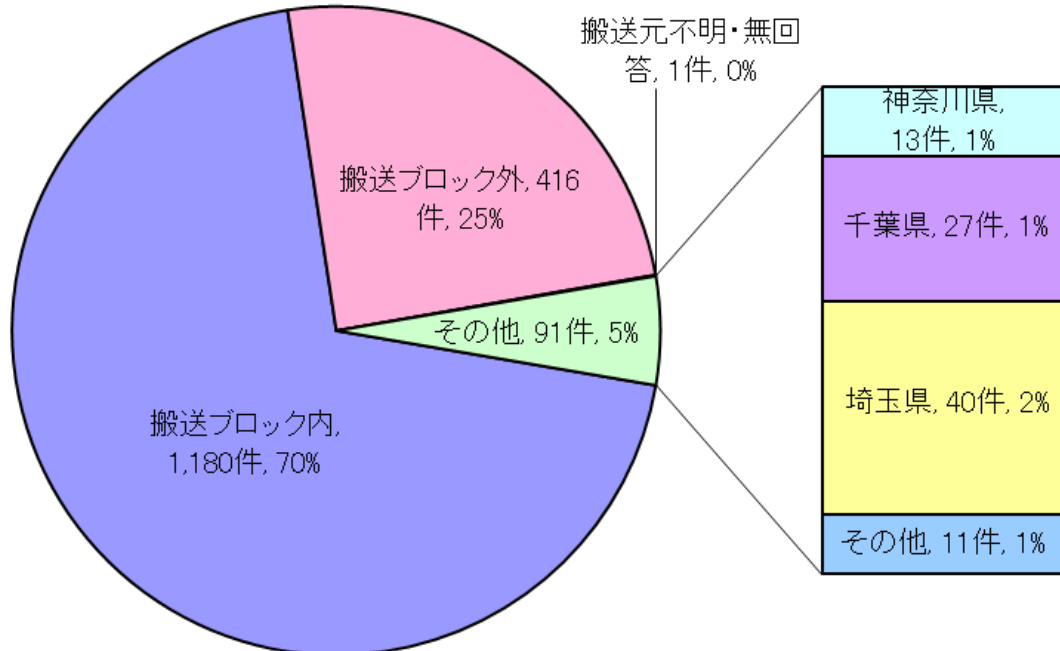
(平成 25 年度)



出典：東京都周産期母子医療センター患者取扱実績

(14) 周産期母子医療センターへの新生児搬送の搬送元ブロック

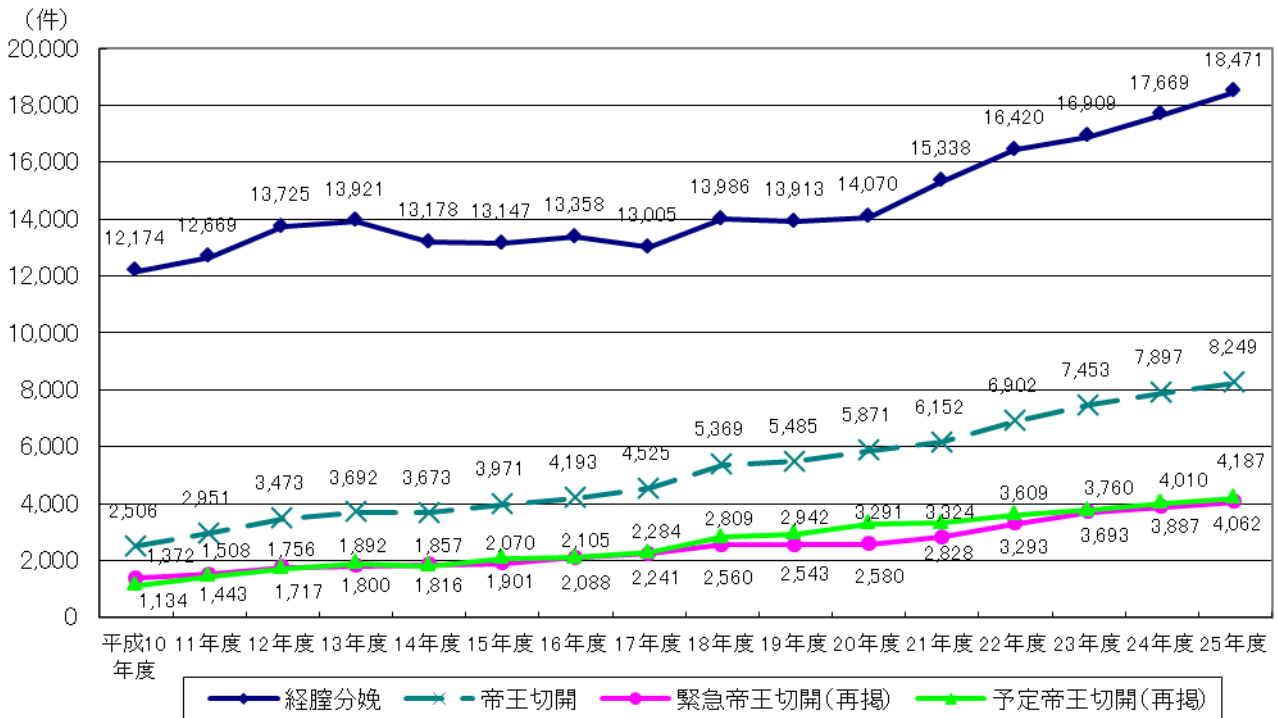
(平成 25 年度)



出典：東京都周産期母子医療センター患者取扱実績

(15) 周産期母子医療センターにおける分娩数（分娩方法別）の推移

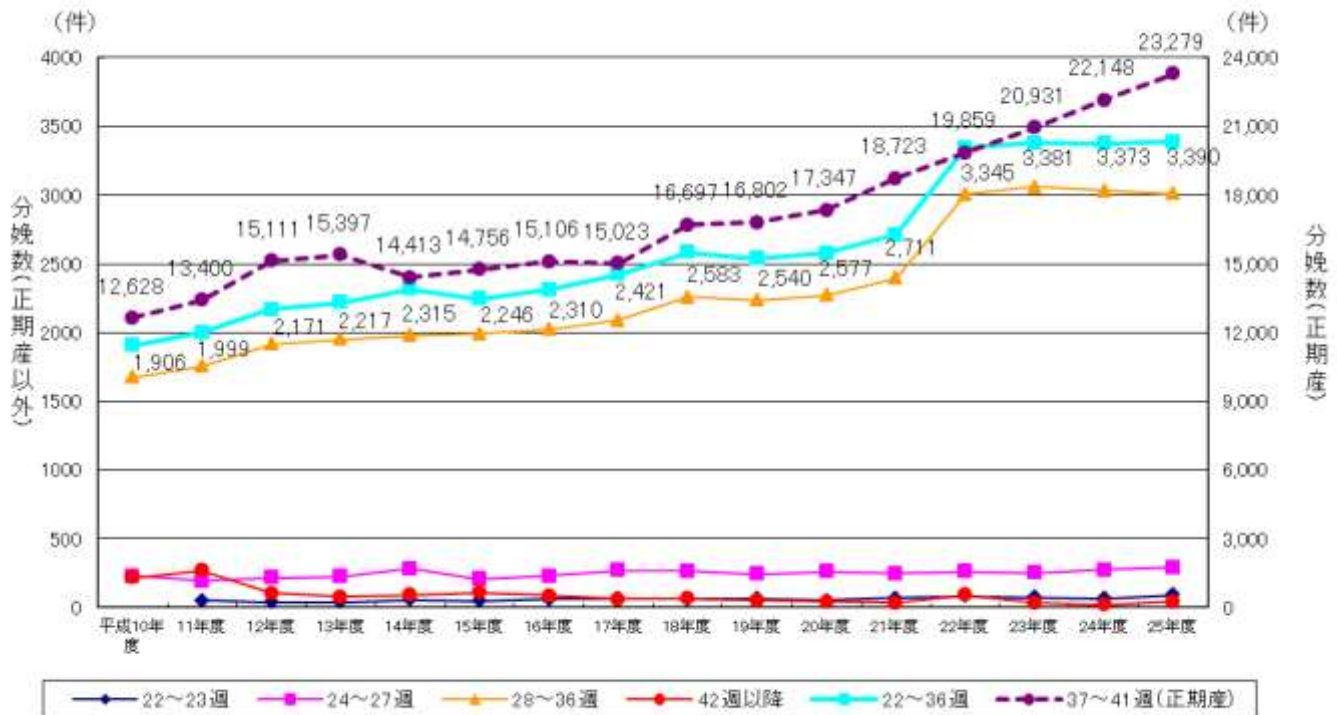
(平成10年度～平成25年度)



出典：東京都周産期母子医療センター患者取扱実績

(16) 周産期母子医療センターにおける分娩数(週数別)の推移

(平成10年度～平成25年度)



出典：東京都周産期母子医療センター患者取扱実績

(17) 周産期母子医療センターにおける搬送受入に対する要請の割合及びNICU病床数の推移

(平成13年度～平成25年度)



出典：東京都周産期母子医療センター患者取扱実績

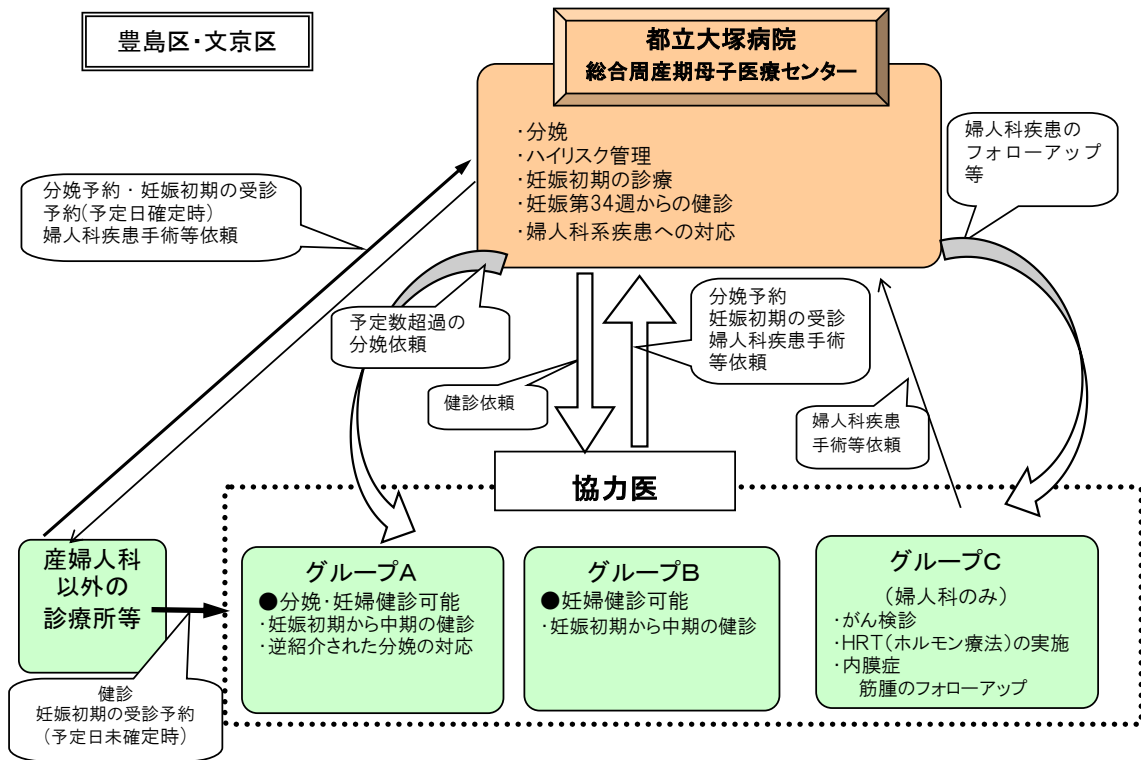
(18) 周産期母子医療センターにおける搬送受入に対する要請の割合及び低出生体重児数の推移

(平成13年度～平成25年度)



出典：東京都周産期母子医療センター患者取扱実績

(19) 周産期母子医療センターにおけるセミオープンシステムの一例



出典：病院経営本部資料